京城日報

二十九日夕刊

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金六十錢
廣告料
京城府大和町一丁目
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 合資會社 京城日報社

[illegible]

○支那革命の兆か

孫逸仙氏腹心の飛躍

支那革命黨は廣東に事を擧ぐると共に其牽引策及び北方派威嚇の爲め滿洲の馬賊と連絡し一方宗社黨を使嗾し海拉爾の蒙軍を動かして滿蒙の地に事を擧げんとし現に孫文の股肱鎭氏は其の使命を齎して滿洲に來らんとし尙上海方面より革命黨員らしきもの數名滿洲に入り込める形跡あり馬賊の一巨頭の如きは曩に上海に急行せるが之同地革命黨の招けるものにて彼は歸來後雙伏兩縣の馬賊と共に遼西に旗擧げせんと準備しつゝあり尙某革命黨の馬賊懷柔は專ら金錢に依るものにして獨逸より得たる軍用金の一部を以て滿蒙擾亂策を企て居れるも果して成功するや否や素より疑問なり右に就き奉天にては嚴戒中なり（大連特電）

○エーヌ高原の大激戰

獨軍八個師團の强襲

八個師團の獨軍は佛軍の奪還せしエーヌ高原を奪取せんと强襲し來れるも悉く擊退されたり此役に獨軍の第二十ブランデルブルグ聯隊は全滅せり（倫敦電報）

○獨太子策戰悉く失敗

エーヌ高原に於ける佛軍の成功は獨逸皇太子に執りて結局第二のヴエルダン會戰たるに終らざるかを思はしむ皇太子は戰線を突破せんとして五月四日以來會戰を交ふる事五十餘回濫りに人を殺して顧みず今日迄の處悉皆失敗に歸せり（倫敦電報）

○レーニン捕縛さる

レーニンは二十四日捕縛されたり（露都電報）

○遣米大使愈出發

廿八日横濱解纜のコレア號にて

遣米大使石井菊次郎子は二十八日午後零時三十分竹下海軍中將、菅野陸軍少將、永井外務書記官、安藤海軍中佐、谷川步兵少佐等の隨員を随へ東京驛出發渡米の途に上れり東郷伊集院兩元帥、寺內首相以下各大臣德川貴族院議長等朝野の名士六百餘名の見送りあり驛頭は盛なる光景を呈せしが一行は午後三時横濱解纜のコレア號に搭乘米國に向へり（東京特電）

○憲兵隊長新任

二十八日附左の通り辭令あり（東京特電）

關東都督府憲兵隊長 憲兵中佐 藤田耕一
免本職補朝鮮憲兵隊長

○和田參事專任

廿八日附左の通り辭令ありたり（東京特電）

朝鮮總督府參事官兼朝鮮總督府鐵道局參事 和田駿
免兼官

○鈴木長官通過 鈴木度支部長官は二十九日午前新羅丸にて著釜午前十時半發列車にて京城へ歸任せり（釜山特電）

◉支那最近政局

▲黎氏に復職勸告 南方の態度は其後益々强硬にして警報頻なりとして傳ふ爲めに馮國璋氏の北上就任も確定するに到らず且つ國內不穩の情態にあるは借款其他對外政策上不利益とする處少なからず卽ち南方派の口實とする處は國會の恢復と黎總統の復職にあれば此際南北融和の一策として再び黎氏を復職せしむるを有利となし段內閣にては窃かに徐世昌、熊希齡の二氏に依囑して黎氏を佛國病院に訪問して復職を勸告せしめたり一說によれば黎氏復職の條件は段內閣の懸案たる（一）參戰問題に反對せざる事（二）民黨に偏私せざる事（三）總統府の官制を改正する事（四）護衛兵を制限する事等なりと傳へらる

▲馮國璋氏の辭電 段總理は目下民國の元首未定にして人心の益々不安に傾き居るより該問題に就ては甚だ焦慮し一日も早く馮氏の上京して正式に就任せん事を懇望し已に其の腹心たる靳雲鵬其他二三氏を派して勸說せしめつゝあれば同氏も遠からず上京すべしと風說さるゝも最近に到り馮氏は段總理に宛て大要左の如き辭電を送り來れり

顧逆國に負きて兵を阻し神京の人心惶駭して國本動搖す國璋一擲材を以て謬りて重任に膺る責任の有る處遂に抵討を加へて共和の累內にせざる可からず然るに今や逆黨既に潰し大亂平定して總統の職務發達に適するの報に接し國家の秩序何物か之れに若かん今特に各省に通電し卽日法に依り代行大總統の職權を停止して元の如く江蘇督軍を領せん

▲財政難と借款 七月中に於て中央の財政は鹽款剩餘の三百萬各省送金の一百萬及び鐵道其他中央の雜收入等にて合計四百六十萬元に達すべきも尚二百萬餘の不足あり各省に送金を督促し居るも殆んど望みなく今や外債に待つに非らざれば現狀の維持さへ困難なるべき情態にあり然るに大借款は參戰問題に關聯するものなるを以て速成を期し難く且つ歐洲大亂後餘力あるは唯だ日米のみなれば勢ひ協商側と云へば卽ち日本の擔當最も大ならざるを得ず五國銀行團の期限も七月を以て滿了するを以て支那に於ける日本の實勢力如何を諒解せる梁、汪、曹等を中心とせる段內閣は差當り我實業團に對し鹽稅剩餘或は京綏線を擔保として二千萬の借款を申込みたりと傳へらる

◉鮮鐵收入好調

朝鮮鐵道にては大正五年度中の實收は頗る好況にて之を收入豫算に比し三十餘萬圓の收益を擧げたるが本年度に入つて四月以來收入益々順調となり一日三萬圓內外を擧げ之れを前年に比すれば五千圓乃至一萬圓の增加を示しつゝあり結局本年度收入豫算超過八九十萬圓に及ぶべし

◉鈴木長官歸任

東上中なりし鈴木度支部長官は不破事務官を從へ二十九日午後九時南大門驛著歸京すべし

◉德川侯令嗣入京

德川賴倫侯令嗣賴貞氏は滿洲視察の途次二十九日朝入京したるが同夜九時四十分發の列車にて奉天に向ふべし

◉鮮內金利低下

朝鮮銀行にては五月より一般取引先に對し鮮內貸出金利の統一及び引下げを斷行し其の結果普通取引先は手形割引擔保付貸附並に擔保付當座貸越し共百圓に付日步最低に於て六七厘平均二三厘の引下を斷行し又六月一日よりは中央銀行として同業銀行に對する融通資金金利も約二三厘方引下げをなしたる結果京城に於ては內地銀行支店の貸出金利從前より頗る低率なりしため鮮銀金利引下の影響は直ちに來らざるも地方に於ける農銀並に小銀行は大體に於て日步三厘乃至四厘の低下を見悲ひて個人金融業者の貸出金利も若干方の低下を現はしたる模樣ありと

◉東拓課長權限擴大

東洋拓殖會社に於ては十月一日より其の事業範圍並に能力大に擴大されしに拘らず重役は反つて從前より減員されしを以て社內職務規程を改正し各課長並に出張所長の權限を大に增大する事となし稍重要なる社務以外は全部其の所管各課長に裁決權を與ふるに至るべしと

▲今後の滿鐵會社

大連より啓上

七月二十七日 通信員

滿鐵會社は今回關東州の官制改正と共に都督府に隷屬する一會社と相成り、同時に總裁は廢止せられて理事長とかり從來の尨大なる一政府的機關を脫して今や漸く鐵道會社の本位に立ち歸らんとする場合に有之候が、理事及び高級社員中にも其の前途に就き悲觀する者もあり又存外平氣にて鐵道院の監督の代りに都督府の直屬監督を受け大抵の事件は旅順と大連で電話にて交涉も出來るゆゑ甚だ便利なりといふ樂天家も有之候、要するに上に立つ都督が克く滿鐵の使命と立場とを呑込みて之を圓滿に監督指導せば何等差支は有之まじく却て本國政府の指揮命令を仰ぐよりも便利に可有之候へども若し滿鐵の立場と使用とを無視して誤れる壓制や監督を加ふるが如きことあらば甚だ憂ふべき結果を招致すべく所詮は一に都督の人物如何に據ることゝ存候、今や第一期の都督は中村男（現總裁）に內定せる由に有之候へば其邊の呼吸には申分なかるべく從つて滿鐵事業にも格別の更迭なく多分現在の儘にて繼續從事致すべき模樣に候

▲鮮鐵委托經營 滿鐵が朝鮮鐵道の委任經營に當る以上今後朝鮮鐵道の建設及び改良は滿鐵之を計畫して總督府の認可を受け之が實行に當るべく會計は獨立として營業上の損益は滿鐵之を擔任せず損失ある時は總督府之を補償し利益ある場合は或程度まで全然朝鮮鐵道の收益に歸し或程度を超ゆるに及び滿鐵は始めて其の五分を收得する契約に有之候め京城に管理局を設くること前報の如く其の編制に關し必要なる人員を現在の滿鐵社員中より選拔派遣するか或は現在の朝鮮鐵道員中より執るかは秘密に附せられつゝあるも大體は既に決定せる由に御座候、而して其の引繼は八月一日より實行せらるべきも當分の間は勉めて從來の制度習慣に據り必要已むを得ざるもの外は漫りに改正致さざる方針の由に御座候、但し輸送及び營業上改善すべきものに就ては熱心なる調査研究を加へ著々之を實現して面目を一新せしむべき意氣込なりと聞き及び申候 匆々

◉滿洲に電線工場

古河合名會社の計畫

滿洲に於て各種電線の販賣に從事せるは在大連古河合名會社出張所を初め三井物產（住友代理店）其他二三を數ふるに過ぎざるも歐洲戰亂勃發以來從來露國方面に於て殆んど獨占の姿にありし獨逸品の供給杜絕したるを以て一昨年來遽に日本品の需要を喚起するに到り哈爾賓、莫斯科方面より一時に十萬メートル乃至二三十萬メートルの大口注文續々來る有樣にて殊に同注文品は露國獨得の品にて古河、住友等の如き大工場を有する會社にても製造能力の充分ならざると鐵道輸送機關の不如意なるとにて每注文の都度需要額の十分一をも充たす能はざるの狀態にありしが近來露貨の大暴落を來し加ふるに輸送機關は益々利用し難きを以て引合は從前の如くならず試みたるも面白からざるより遺憾ながら自然取引を中止するの止むなきに立至り目下の處全く中絕の狀態にありといふ之が爲め一時活況を呈したる內地各電線工場就中小資本にて經營せる小規模の工場は破產の悲運に逢著したる者少なからざる由なれども輸送機關の改善と露貨相場の恢復の時期到來せんか再び需要旺盛となり取引繁忙を呈するに至るべきや必せり故に古河合名會社の如きは是等の需要に應せんが爲め早晚滿洲に製造工場を開設すべく計畫中なりと（奉天）

◉南滿製糖總會

南滿製糖會社は二十六日第一回株主總會を東京に開き豫定の通り六朱配當其他事項を議決したるが取締役補居賴三氏の後任補缺には田沼義三郎氏當選したりと（奉天）

◉南沿岸汽船組合計畫

本月十六日より朝郵會社が一般に荷客運賃の値上げを斷行し殊に個數荷物の如き從前に比し倍加以上となりたるを以つて南沿岸各地方の荷主は大恐慌を來し其反響として麗水、三千浦、泗川、晋州、統營、馬山、鎭海各地方の有志は一團となり汽船組合を組織し石油發動機を以て釜山麗水間の新航路を開始せんと秘密裡に協議中なりと

◉鴨江流筏狀況

採木公司の調査に據れば七月二十八日迄に於ける馬市臺著筏總數一千四百七十九臺此連數五十六萬九千四百十五連にして內公司が一旦買收の上直ちに賣戾を爲したる筏數九百零八臺此連數三十四萬八千二百二十九連なり、公司が買收貯材せし筏數三十一臺此連數一萬六千六百二十連なり本年は春季以來鴨綠江の水量乏しく筏の流下數に就ては一時非常に悲觀せられたるも七月中旬の大水に依り大に事業の進捗を來し七月二十八日の如きは本流百十九臺渾江八十八臺計二百○七臺の著筏を見たるもの、如く今後二三週間は連續して此盛況を見るべく上流各地に於ては今回の出水に依り日本式筏及び管流材は幾分の漂流等を生じたるも支那式筏は編筏堅牢にして出水に適するを以て目下好個の流筏狀態を持續しつゝあり木材市價は一般に銀貨高の影響と著筏の盛況を見込み稍下押の氣味あるも大なる變動なきは支那沿岸各港一般の木材需用高大なるものあるも一は又亞米利加材及び北海道材の出荷なき爲めなる可し（安東縣）

◉釜山の對朝郵要望

日本郵船會社が其の阪神浦鹽航路就航船二隻を一隻に減じたる結果釜山浦鹽間の航路減少したるを以て釜山にては浦鹽に對する船腹不足を來し結局其の缺乏を補ふため朝鮮郵船會社に對し命令航路たる元山浦鹽線の釜山延長を要望し來りし由なるも會社にては目下の所需給上之れを容れ難きもの、如し

◉滯貨益々增加

本年の夏季を以て一掃すべく計畫せられたる釜山埠頭の貨物は更らに減退の狀なく釜山地發は近時大に減少せるも奧地滿洲よりの連絡貨物は益々增加の狀態にて常に二三千噸の停滯し居れるが現狀を以て推せば秋季出穀季節に際せば昨年以上の停滯を來すべく延ひて產地及び市場の蒙むる影響少なからざるべければ今日より豫め之れに對する適應の處置を鐵道院に於て講せられんことを一般に希望し居れり（釜山）

◉蒙產羊毛廻著

蒙古羊毛は從來天津を主とし幾分大連を經て船積輸送をなし居たりしに近時船腹不足と運賃暴騰の結果滿鮮鐵道便に據ることゝなりたる爲め大手筋の搬出したる同荷物續々釜山に廻著し來り昨今神戶へ向け連絡すべきもの夥しく輻輳し居れり（釜山）

◉水利組合長打合

全北道に於ては來月三日より三日間管內各地水利組合長及び同關係者を道會議室に召集し打合會を開催する筈なるが打合事項は水利組合令發布に關する件及び懸案となりたる四水利合同の件なりと

◉河合林學博士

森林利用學の泰斗として令名ある東京帝國大學農科大學教授河合鈺太郞氏は農商務省の囑託を受け過般來吉林及び北滿地方の木材狀況視察の爲出張中の處二十八日午後五時十九分列車にて來安元寶館に投宿兩三日間滯在の上鴨綠江材に就き研究を爲す由（安東縣）

◉庵原水產技師消息

總督府農商工部水產課技師庵原文一氏は廿七日密陽に於ける總督府經營の養魚地を視察し廿八日來釜せり（釜山）

◉八田測候所技手赴任

釜山測候所長より元山測候所勤務に榮轉せし八田益太郞氏は本月末又は來月早々赴任の豫定なりと（釜山）

鎭南浦

▲御式年祭遙拜 三十日は畏くも先帝陛下の御五年御式年祭に付平壤神社及び鎭南浦神社にては各午前十時より莊嚴なる遙拜祭を執行する筈 ▲六箇月間屠獸數 鎭南浦に於ける本年一月より六月末迄の屠獸數は牛二百八十五頭價格二萬三千九百九十四圓にして昨年の同期に比し頭數に於て二百五十一頭を減じたるも價格に於ては約千八百圓を增し豚六百廿七頭價格五千五十九圓七十錢昨年に比し頭數に於て二百三十二を減じ價格は百十圓を減じたるのみにして犬の六十四頭百十一圓十錢は頭數に於て四十五頭價格八十五圓十錢を增せり ▲中旬米穀檢查 七月中旬鎭南浦に於ける米穀檢查數量は玄米一千三百三十三叺白米二百五叺にして本年四月以來の玄米檢查數量累計は一萬三千七百四十四叺なりと ▲郡道路改修費 平安南道管內各郡に於ける本年度の道路改修費は協議費其他合計八萬餘圓を計上しありと

全州

▲南部稻作被害 茂朱郡に於ては富南面の一部にドロムシ發生し水稻面積約十五町步に亘り被害を及ぼしたるが當局の驅除速かなりし爲遂に其の傳播を中斷したるが被害見積價格は百五十圓位なり又扶餘郡に於ても舟山面一帶に害虫發生し九百六十四町步餘に傳播し見積被害一萬八千餘圓の見込なりと ▲春蠶好成績 本年春蠶は茂朱、錦山、任實の各郡に於て共同販賣に附したるもの、みにて約七百石に達し前年の二百六十七石に對し十六割二分の增收なり價格の點に於ても前年は一萬○五十圓に過ぎざりしも本年は四萬七千五百八十九圓に上り一般に好成績を收めたりと ▲蒸汽唧筒到著 全州消防組合にて購買したる蒸汽唧筒は二十八日午後到著したるが同品は英國製にして單價直立付プンジーヤ・パケツト式十馬力の大形にして附屬品の如きも申分無しと ▲城戶中尉來著 今回全州守備隊附に編入となりたる城戶步兵中尉は二十六日著任したり

光州

▲農銀支店設置調査 光州農工銀行にては松汀里繁榮會の陳情の趣旨に應じ同地支店設置比較調查の爲め數日前監津留營業課長を全州松汀里金堤方面へ視察に出張せしめたり ▲農業年中行事 農事に關する年中の行事は頗る重要なる事項に屬するを以て今般本道種苗場にては農作物一切並に畜牛養豚養鷄各種の副業其他に關して詳細なる行事表一覽を印刷に付し各府郡島各面及び各地警務官憲に之を配付し農事上の指導獎勵に便宜を與へたり ▲宮木長官歸省 宮木道長官は八月五日より十日頃より向ふ三週間の豫定を以て東京自邸へ歸省の筈なるが佐藤吉村兩部長共今夏は歸省せずと ▲水道工事入札 光州上水道第一回の工事なる貯水地取水堰堤工事は二十八日入札の結果最低七百八十圓を以て光州富樫長吉氏に落札したり ▲農銀總會 光州農工銀行第二期定時總會及び臨時總會は二十八日午後三時より同行樓上に於て開催宮木道長官、吉村第二部長等臨席銀行長は營業報告を爲し續いて利益分配案（年八朱）を議し終りて臨時總會に移り監查役崔元澤、池應銓兩氏任期滿了に付改選を行ひたるが其の結果前記兩氏の重任を見たり因みに本期同行の純益金は九千七百圓なりと ▲綾田技師出發 農商工部へ榮轉の綾田技師は二十八日午前八時自動車停留所より家族同伴出發京城赴任の途に上る筈なり

大邱

▲慶州地主組合總會 慶州地主組合總會を來る八月二日午前九時より同郡廳に於て開催の筈なるが其の協議事項は

一、定租の實施に關する件二、優良品種普及に關する件三、優良小作人の表彰四、擬勵米給與の件五小作米品評會の件六、農事講習に關する件七、米麥調製用蓆製作講習に關する件八、金肥用大豆栽培の件九、大正六年度豫算決定十、役員改選の件

等にして從來は出席人員の少數なるが故に一般に協議の事項を了知せしむる事能はざりしが今回若し人員少數の際は同月中旬再び開催の筈なりと ▲持地遞信長官視察 總督府遞信局長官持地六三郎氏は南鮮遞信事務視察の途次八月六日當地著一泊の上大邱郵便局を視察し又土木局長時代の縁故を以て大邱水道の水源地を視察す可しと ▲在鄕軍人數 大邱在鄕軍人分會調査にかゝる大邱現在の在鄕軍人數を聞くに將校及び相當官合して三十三名准士官十一名下士八十八名海軍下士七名兵卒四百五十八名海軍兵卒七名なり

人事消息

▲岡本正雄氏（咸興地方法院長） 二十八日夜內地へ ▲今村京畿道第一部長 二十八日夜內地へ ▲大塚法學博士（京大教授） 二十八日夜大連より通過內地へ ▲三井物產京城支店員三十八名 二十八日夜新安州へ ▲ボイトン氏（米國宣教師） 二十八日夜入京朝鮮ホテルへ ▲大分縣視察團一行 二十九日夜出發滿洲へ向ふ筈 ▲竹山楞吉氏（兵庫縣飾磨郵便局長） 二十九日朝退京

寄鏈庵翁在近江

今關天彭

山影欲播帆影流。蘋風汀雨滿汀洲。
將五十年前夢。入倚湖南第一樓。
獨對碧雲憑檻時。夢餘縹渺奈幽思。
人難望詞人老。誰記江南蓄竹枝。

望みの光 野に山に輝きて

回 將來西湖津は好個の避暑地 回

北鮮各地を巡り來て—前田高等警察課長談

北鮮方面の事務開の爲め出張中なりし前田高等警察課長は廿八日午後五時十分南大門驛着歸任せり巡視中の旅行談の一節に曰く

今回の旅行は雨期の事とて定めて大いに降らるゝ事と覺悟して出掛けたるが幸ひに雨の後前を縫ふやうに立ち廻つた爲め大雨に降り籠められもせず比較的涼しい旅行を續けて極めて豫想外に進捗せり

元山より清津迄の

往航は大分海が荒れたが歸途西湖津より元山迄の海路は涼風波を揚げず極めて愉快に平穩なる航海であつた西湖津は非常に涼しい處である予が同地に宿泊したる夜の如きも浴衣一枚では寒くて居られぬ位であつたが咸興に來て聞くに僅かの距離に在る咸興は其の夜も非常に蒸し暑かつたとの事である西湖津の涼しい事は畢に彼處が海濱地なるが故に涼しいと云ふ理由ばかりでなく寒潮の岸を洗ひ來る關係の深き事と思はる將來西湖津は好個の避暑地となるであらうと思はれる、咸興永興間の道路は今年初夏

李王殿下御墓參の

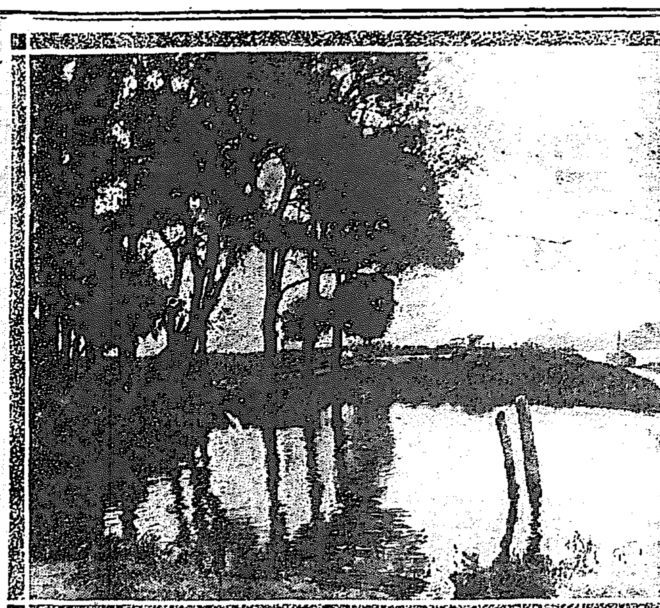
際開修された未だ完成せられて居らぬまでも多數の自動車を通じた程であるから相當の道路ならんと思ひしに實際は甚だしき惡路にて全く砂石を混せず降雨にて練り返へしたる粘土の泥濘は晴天になると共に堅硬に乾燥して凹凸ならざる處なく馬の步行さへ却々困難なる程なれば李王御一行が自動車にて雨後に此の泥濘路を通行されたる困難の程察するに餘りあるものがあつた、北鮮地方は西南鮮地方に比し

人煙稀薄にして

部落の大なるもの稀なれど建家は凡て西南鮮地方に比し堂々たるものあり農業の發達未だ極めて幼稚にして水田稀少、農民は多く粟、稗等の收穫に甘じて居るもの、如し山間灌漑に利便なる土地と雖も亦水田少なく溪流に沿る山腹地及び溪底の盆地等に至るまで悉く畑として稗、粟等を耕作するもの、如し、されど北鮮地方は近來兵營の設置

鑛山業の發達に依

り一般經濟界に好況を與へ何んとなく元氣橫溢し內鮮居住者の凡ては其の希望を土地の開發繁榮と共に將來に繫いで居る



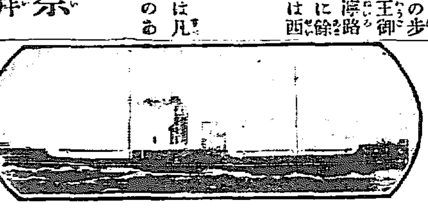
夏の朝 (漢江沿岸にて)

◆明治天皇 御五年式年祭 李王御代拜

三十日は明治天皇御五年祭につき京城神社に於ては午前十時より儀式を執行する事となりたるが當日は李王殿下並に李太王殿下の御代拜あり秋山軍司令官、山縣政務總監以下各部長官以下重なる官民在鄉軍人會 赤愛會員其他參列し玉串を奉奠すべく式後も祭壇を存置して一般の者に參拜せしむべし

◎新造の滊船堂德丸

大阪造船鐵工所に於て建造中なりし兵庫縣の素封家伊藤長次郎氏所有汽船堂德丸(一千五十噸)は去る十八日進水式を擧げたるが同船は船長百九十呎、船幅二十九呎六、深さ十七呎六といふ比較的大型の汽船なるに拘はらず全部木造なるは海運界に於て注目されつゝありといふ因に同造船會社には元京城銀行支配人なりし弓場重榮氏主事として入所樞機に參し居れりと



◎網に躍る銀鱗 波を染めて

◇一尺の鯛や一尺以上の鰆らしい鰕が澤山獲れた◇

海雲臺の海水浴で團員の大喜び 本社主催探凉團と盛んなる歡迎

二十八日午後七時五十分南大門を出發せし我社東萊及び海雲臺探凉團一行乘用新造列車は龍山、永登浦、平澤、天安等より參加の團員を收容し總員百名夜行列車の心地よき凉風を浴びて何れも元氣好く語る團員の中に京城より參加せる

◆艶麗花の如き美人

あり「ヱー夫人と名乘り居れるより初めの內は一同敬意を拂ひゐたるに是ぞ京城府茶屋町の名妓錦紅なるを看破されソレより錦紅を中心に內鮮人相融和し車中の賑ひ盡きず夜を更かし漸く大田にて眠りに就き翌朝淸洞密陽附近より眼を醒し前夜に勝りて賑ひを極む中にも龍山より參加せし宮本エイ子(六二)といふ老人は同行者は爲め氣遣ひ居たりしに

◆一行の元氣さ賑ひ

に獨りの淋しさを忘れて大喜びなりき列車は午前六時十分釜山着、一行の乘船に便せん爲め列車を特に棧橋まで進め一同下車、同所には釜山府より寺島事務官、各係主任、橋川釜山警察署長、鐵道局、鐵道院の各吏員、釜山日報社長芥川氏、旅館組合役員、內鮮官民有志多數、草梁有志同妓生二十餘名の出迎あり、一行は一二等待合室にて休憩、七時社旗旅館旗數十旒を先頭に稅關棧橋より

◆大小汽艇に分乘し

海路海雲臺に向ふ。この日は南東の微風吹きて快晴なり、海面油を流せし如く波靜かに心地よき凉風を面に受けつゝ各船互ひに歡呼し合ふ快感限り無し、船は八時海雲臺に着く、探て海濱に漁撈せる漁船數隻は折好くも稀れなる大漁にて目の下二尺の大鯛、鱸、鯖、鰆、一尺の伊勢蝦網何に割けん許り一行の乘船附近にて捕れ

◆目醒ましき光景に

歡聲湧くが如し、斯くて八時三十分上陸、朝餐をなし旅裝を解き浴衣掛けにて海水浴場に赴く波靜かに海水鏡の如く入浴の海底に游遊する魚介を目のあたり眺め得て一同滿足云はん方なく時の移るを知らざりき、一行は十二時海雲臺丘上の雲餐場に會合し休憩の後、溫泉又は附近の名勝地に隨意行樂を盡し午後四時歸程釜山に向ひ出發す東萊郡守、吏員、行志附近面長其他內鮮人有志妓生海雲臺に來り迎送に努む(海雲臺にて幹部發電)

◎泰山丸の船長等歸る

遭難後倫敦に在りし元泰山丸船長栃木清助氏等二十八日朝神戶に歸着せり(大阪特電)

◎數百名の農民 爭鬪

鳥取縣東伯郡上北條村及び附近村民三百名は水論より二十七日片倉製糸工場へ押寄せ工場より二百餘名之れに應戰し相方負傷者を出せり(大阪特電)

◎白石代議士敗訴となる

若松市選出代議士白石新太郎氏に對する當選無効訴訟は柴四朗氏より提出し宮城控訴院にて係爭中の處二十八日判決あり白石氏の當選を無効とし費用は被告の負擔とすとの宣告あり(東京特電)

◎山中海軍少將の奇禍

自働車轉覆して負傷

二水雷戰隊司令官に轉任せる山中海軍少將は二十七日朝吳鎭守府より自動車にて工廠に向ふ途中谷間に轉覆負傷せり(大阪特電)

◎特約運賃全廢か

鐵道院西部管理局は貨物掛不正事件の餘波として特約運賃を全廢すと(大阪特電)

◎賑ふた仁川海水浴場開き

京城から百數十名の來客=各賣店の大繁昌=入場者二千人=第一日=

京仁幾萬の市民が今日か明日かと待ちに待ちし仁川月尾島の海水浴場は豫定の通り二十九日早朝より開場せり朝來突晴れ渡り絕好の海水浴日和となりたれば

海水浴場中央及び各賣店等の旗幟を始めとして海風に飜へり各係員は夫々持場に付今や遲しと浴客を迎へたり斯くして京城よりの一番列車にて一團百餘名の入場あり引き續き二番列車にて百四五十名の來客あり滿潮時に近き午前十時過頃よりは仁川市民の來場するもの引きも切らず切符發賣所は目も眩はる程雜沓を極め觀覽の通船は滿員に次に滿員と云ふ有樣で仁川埠頭は近來になき盛況を呈したり

男女兩浴場には數百の浴客が滿潮に乘じんなんとして賑かに膨らみ來たる海水に心地快げに入浸り遊ぎ廻る盛況言はんかたなく各賣店も非常の大繁昌を極め當日の入場二千人と註せられ大盛況裡に第一日を閉場したるは日沒なりき三十日も祭日の事なれば京龍より浴客の多數なるべく前日に增す盛況を呈する事なるべし(仁川)

◎日淸、日露兩役に名譽の軍功 武運目出度き隈部新陸軍少將

京畿道警務部長兼憲兵隊長隈部親信氏が今回陸軍少將に昇進し關東都督府憲兵隊長に補せられたるにつき氏を知れる或京の某退職軍人は語りて曰く。

隈部氏は長野縣の人で慥か明治廿四年士官學校出身だと思ふ。廿七八年の役は乃木軍の步兵第一聯隊附小隊長として出征し、三十七八年役當時には參謀本部附少佐から步兵第二聯隊の大隊長に轉じて

▽旅順攻圍軍 として其の時は奧軍に屬して各方面に轉戰し其の間には隨分苦戰にも遭遇したが武運目出度く其の後第一師團の高級副官に轉じて監理部長に補せられたが同役最後の奉天大會戰まで絕わず戰線に在て軍功尠からず凱旋後岐阜の

▽朝鮮へ赴任 し來たのは慥か併合前一二箇月前だと思ふ。何んでも步兵科及び他の特科將校から憲兵に轉科して來たのは隈部氏と今居る前田(總監部)服部(慶南)鹽澤(黃海)各大佐と內地へ歸つた杉村、吉弘兩大佐と都合六名である。即ち隈部氏及び其の他五大佐の如きは

▽行政上手腕 があるのを認められて憲兵に轉科して來た譯である。聞けば今度の關東都督府憲兵隊長といふと、佐官級の仕事の樣に思ふ人もあるだらうが、其の實同都督府の憲兵司令官に外ならないので追々滿鮮の憲兵制度も官制に多少の變更を見る事であらう。

◎福岡遊廓取締等賭博罪で拘引

福岡新柳町遊廓取締池見辰治郎及び同遊廓第一の料理店にて會計役たる三浦屋主人外書記二名は賭博事件にて二十八日拘引されたり(大阪特電)

◎火災を電話で知らせるには

▽何うすれば好いか

火災電話通知特別取扱に關して豫て京畿道警務部にて遞信局に照會中の處、此程漸く交涉纒りたるを以て九月一日より實施の事として不日警務部令にて告示を見るに至るべし京城に在りて各消防所龍山にありては憲兵分隊に左記の方法に依りて火災の通知を爲すを得るに至るべしと

▲交換手を呼出し何番と電話番號を稱する代りに「火事」と呼び相手の出づるを待ち其の火災の場所を知らすること

▲郵便局又は郵便所の呼出に依り報知を爲さんとする場合は火災の場所及局所員に告げて之に依賴する事

▲自働電話にありては何番と呼ぶ代りに火事と呼び引續き火災の場所を告ぐる事

◎仁川の明治天皇祭

三十日は明治天皇五周年に相當するに付仁川大神宮にては同日午前九時より官民有志參列の上式年祭を執行する由

□二十九日溫度(午後三時京城測候所發表) 華氏九十一度(昨日最高溫度華氏九十三度六分)

◎敎習警官の水練

警官練習所にては三十一日より三日間西氷庫に於て水泳練習會を開催すべしと會員は敎習中の警官其の他にて約百三十名あるべしと

◎犯人の狂言自殺

全南濟州島舊面上里生れ京城貞金町三丁目居住氷行商金聖玉(三七)は七月十四日夜同鄉人なる永樂町二丁目永樂湯雇人高熙鎭の許に忍び入り現金十六圓七十錢衣類七點(三圓七十錢)を窃取したるを高熙鎭及び同鄉人なる高熙秀の兩名が二十三日聖玉を責め立てたるに聖玉は小刀を頸部に擬し狂言自殺を企てたるも遂に本町署に逮捕され取調べの上裁判所へ送る

◎公金二千圓橫領事件

島根縣八束郡美保村生れ慶北盈德郡[illegible]三代[illegible]は[illegible]る情を知りつゝ借り受けのみならず面經費十五圓を橫領費消したりといふ一件は大邱地方法院の公判に附せ[illegible]

◎猩紅熱

京城中林洞三百二十四番地宇野和子(六つ)は二十八日猩紅熱と診斷され入院加療中

[illegible]

募集規定

[illegible]

天氣 晴れ時々曇り

七月三十日 [illegible]

告在鄉軍人

今般京城憲兵隊長隈部少將關東都督府憲兵隊長に榮轉相成候に就ては三十一日午後九時四十分南大門驛出發に付分會員は同時刻同驛に集合見送り相成度し

帝國在鄉軍人會京城分會

◎正誤 七月二十五日朝刊三面同二十七日朝刊三面揭載京城運輸組合各店の內有るは京城運輸合名店の誤りに付茲に訂正す

▲鑛業家福音▼

新案 松藤式碎鑛機

鑛石耐火煉瓦原料其他硬物の粉碎本機動作頗輕便に構造簡易也如何なる山間僻地と雖も運搬自由也粒の大小を適宜に粉碎し得動力足踏二種價格廉也

特許 松藤式撰鑛機

本機は比重陶汰法に則輕便簡易撰鑛を特別水量僅三尺立方にて足り手廻足踏動力三種にて深山幽谷にも自由に運搬中少年にて作業し得價格低廉也御希望の御方は御申込次第說明書送

鑛山用諸器械販賣

大阪市北區鳴尾町停留所前 大陽商會

大正六年上半期第八拾期決算公告

貸借對照表

負債之部

資本金	參、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
諸積立金	八參〇、〇〇〇・〇〇〇
諸預リ金	一四、四七參、九八六・七八九
他店借	貳、壹八七、貳四六・〇貳〇
仕拂承諾	四五、五〇〇・〇〇〇
借入金	貳〇壹、〇〇〇・〇〇〇
未拂利息及未經過割引料	五五、貳七四・五〇〇
前期繰越金當期純益金	五貳七、九九壹・貳四參
合計	貳壹、參貳〇、九九八・五五貳

資產之部

諸貸金	壹、六參六、貳九參・九壹〇
割引手形及荷付爲替手形	四、五八貳、貳八貳・〇參〇
他店へ貸	壹、參七八、貳七五・五八〇
仕拂承諾見返	四五、五〇〇・〇〇〇
預ケ金	壹壹七、貳七七・五七〇
諸公債證書	一、壹五八、壹五壹・壹七〇
社債及株券	貳四八、八五壹・六八〇
雜勘定	參〇貳・七〇〇
營業用土地建物	四九壹、五參五・五五〇
所有動產不動產	貳〇〇、八六參・四四〇
現金有高	壹、四六壹、六六四・九貳〇
合計	貳壹、參貳〇、九九八・五五貳

利益勘定

當期純益金	壹七八、〇七八・四七參
前期繰越金	參四九、九壹貳・七七〇
合計	五貳七、九九壹・貳四參

內

積立金	貳〇、〇〇〇・〇〇〇
賞與金	壹七、八〇七・〇〇〇
配當金(年九分)	壹參五、〇〇〇・〇〇〇
後期へ繰越	參五五、壹八四・貳四參

右之通候也

長崎市築町百七番戶第壹號

株式會社 十八銀行

頭取 永見寛二

副頭取 松田英三

取締役 高橋守太郎

同 足立瀧二郎

同 松田精一

監査役 高見和平

同 藤瀨宗一郎

同 山田又三郎

水銀と青酸加里(保税品有)

京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話四五・二七七四 振替京城二五六

子爵 小笠原長生 序文 學習院敎授 服部他助 新著

恩師乃木院長

四六版四二〇頁乃木大將肖像及著者撮影寫眞版數葉挿入 上製總クロース金文字美本 定價一圓八十錢 並製定價八十五錢 郵稅各八錢

青年子弟の德性涵養 學校職員の良典範 育英薰陶の好指針

古今東西、忠勇義烈、至誠高潔、操修篤行、萬人齊しく瞻仰景慕するもの、乃木大將の如きは蓋し稀也。著者は十有餘年學習院に敎職を執る人、殊に乃木大將院長時代に、寄宿寮監督の重任を帶び親しく大將に昵近して、其偉大なる思想人格によ り、寮生監督の職責を全うしたる人也。大將薨後追懷景慕禁ずる能はず、當時の觀察感想を記載したる日誌を基礎として、圓熟時代に於ける大將の眞面目を縱橫自在に發揮せるもの即ち本書也。籍十九章五十九節、其の華族子弟の寮舍生活を寫し、乃木大將を中心とせる威化訓育事業を詳し、人道の儀表たる大將の人格を發篩して些の慨なし。質に乃木大將傳中、別種出色に鬧する文字にして、何人も一讀すべき近來の好著也。

發行所 東京市京橋區日吉町 民友社 振替口座一三一〇〇

賣捌所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

取次所 京城本町二丁目 大阪屋號 振替京城二四五番 京城本町二丁目 巖松堂

入院隨意

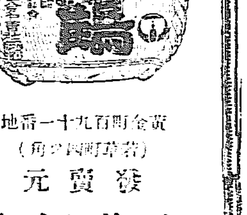
京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通) 酒井婦人病院 院長 酒井一郎 電話二六〇〇・一八番

謹告

暑中御見舞として平素の御厚志に報ひん爲め來る二十八日より五日間 洋食半額にて差上ます(御來店に限る)

精肉 氷卸 商 石田本店 京城明治町二丁目 電話千〇四十二番

優等清酒



黃金町百九十一番地(若草町の角)

發賣元 本莊酒店

電話六五四番 振替京城六二〇番

御詫廣告

キネオラマ應用 悲喜劇 鬼笑會一行 三十餘名

昨午後八時壽座に乘込む際本町通り御通行被遊候各位樣定めて御混雜之事と推し候茲に紙上を以て御詫び申上候

壽座々主 鬼笑會一行 敬白

各位樣

……したる其横領金中二十五圓八十錢を同郡廳の郡書記徐丙錫（三）に貸與し又郡書記徐丙錫は三代の横領金なる分と認められ懲役二年に處せられ徐丙錫は證憑不充分として無罪の判決を言渡されたり因に三代は服罪せず大邱覆審法院に控訴したり

●連絡船上陸客　廿八日午前八時五十分釜山入港新羅丸一二等客　一等（六名）大橋與一、三浦わき、牧猛、陳永鎭、岩田佐二、上田貞次郎、二等（五十二名）……

二十八日午後九時三十分釜山入港壹岐丸……

おとぎばなし　小犬の夢

暑い〳〵日の午後でありましたが、それでも紫陽花の下には蔭がありました。その紫陽花の下の日蔭に、手足を伸ばして一匹の小犬が晝寢をしてをりました。

晝寢をしてゐた小犬は、自分の名を呼ぶ聲がしたのを聞きました。小犬は直きに聲のする方へ飛んで行きました。其庭にはお隣の坊ちやんが立つてゐました。小犬は坊ちやんの傍へ行つて尾を振りました。すると坊ちやんは袂の中からビスケットを五つ六つ出して小犬に呉れました。小犬はビスケットを旨しさうに食べました。いくつ食べても食べきれないほどビスケットの數がありました。

坊ちやんに戴いたビスケットは五つか六つであつたのに、もうかれこれ三四十も食べたやうに思ふのにまだビスケットは目の前にいくつもあるのです。

「をかしいな。まだあるよ。これは眞に有難い。こんな時食べなくつちや。」と小犬はビスケットを次から次に食べきました。食べても〳〵食べきれるどころではありません。ビスケットは、いつの間にか目の前に山ほど積んであるのです。小犬はとう〳〵食べ方を止めてしまひました。もうビスケットで小犬のお腹は一ぱいになつたのです。

「もう食べられないかね？」

お隣の坊ちやんは、にこ〳〵しながら言ひました。小犬は尾を振りながら

「もうお腹が一ぱいになりました。こんなにビスケットを澤山戴いたことはありません。」

「牛肉はどうかね。」

「へえ牛肉？。」

「牛肉なら、まだ食べられるだらう。」

「さうですね。牛肉ならまだ戴けるかも知れません。」

「それでは上等の牛肉を食べさして上げよう。さあ〳〵遠慮なくお上り。」

と坊ちやんは上等の牛肉を小犬の前に置きました。ビスケットはもう食べられないでも、牛肉はいくらでも食べられました。坊ちやんに戴いただけの牛肉は直きに食べてしまひました。すると坊ちやんは又牛肉を下さいました。小犬はその牛肉も食べてしまひました。すると又坊ちやんは牛肉を下さいました。食べても〳〵食べきれないほど、坊ちやんはいくらでも牛肉を下さいました。牛肉の大好きな小犬もとう〳〵降參しました。

「もう坊ちやん澤山です。お腹は牛肉で一ぱいになつてしまひました。」

「さうか。ねもう食べられないかね。ちやお肴の骨を上げようか。」

「さうですね。お肴の骨ならばまだ食べられるかも知れません。」

「それではお肴の骨を上げよう。」

と坊ちやんはお肴の骨を澤山〳〵小犬に下さいました。小犬はパリ〳〵とお肴の骨を食べはじめました。そしてすつかりお肴の骨を食べてしまひました。あまりいろ〳〵食べたので小犬のお腹はパンと破けてしまひました。

「アッ大變！」

と小犬はびつくりして目を覺しました。目を覺まして見ると、今のは夢でした。小犬はやはり紫陽花の下の日蔭で晝寢をしてゐたのでした。（をはり）

●歐米人の避暑地　九味浦の濱
全鮮の鑛山師宣教師が百餘名の避暑

黄海道長淵郡九味浦は夢金浦に近い海岸で其の風景の絶佳なると波穏やかに白砂の濱の滑らかなる爲め在鮮歐米人間には夙くより海水浴場地として謳はれ別莊さへ建築されつゝ有る程である、而して昨年の如きは鑛山家宣教師等百餘名七八十名の鮮人奴僕を引連れて短かきも二箇月長きは三四箇月間も避暑をなし本年は更らに二戸を建造し益々避暑客を招致しつゝ有るが從來仁川鎭南浦間就航の宗信丸は一等室の設備無く且つ便所の如きも日本人向きの設備なれば外國人は何れも閉口し夜は甲板上に天幕を張らしめて就眠するなど堪へ難き者あるより何れも乗船を忌む事甚しき爲め朝郵にては本年より同船に一等室及び西洋便所等を設くるなど乗客の便宜を計りたるも避暑客は一般に時間の關係上仁川より汽路を取らずして鐵道にて鎭南浦に廻し鎭南浦より船に搭する者増加したると因に九味浦は仁川より海州に到り龍湖浦を經て翁浦を過ぎ一晝夜にて達す可く食料は全部仁川の伊藤商店より供給する由

●水攻めの神戸
飲料水が一荷十五錢

◆斷水の神戸を訪れた、市民は今や水道涸渇で困つてゐる、五十三萬の生命を賴む溪流が涸渇して貯水池も將に底を叩きさうになつてゐる、二十日から日に二回の給水それも二十七日から一日一回二時間に制限されて細民部落の共同栓は異に慘澹の光景を呈してゐる、奥平野、荒田、山手、兵庫の一部は殆んど斷水の有樣である、最う後十日も晴天が續いたら神戸市は干上るの外ない、酷暑の廿四時間中水道栓から水のポト〳〵と落ちるのが二時間では遣り切れない、飲料水が一荷十五錢で賣られてゐる

◆其一個の水道栓に二百五六十戸の人がシガミ着てゐる葺合新川南北本町吾妻通日暮通りの細民部落は馬槽を提げた老幼男女が渇した蛇の如く長く連つて共同栓に迫る、糖味噌桶まで打あけられて臨時の水溜となり晩酌の貧乏徳利にまで水を盛つて仕事歸りの親爺を待つと云つた光景、水が有餘つてゐてさへ焦り附けられるやうな神戸で水がないと思ふと行路のものさへ一しほ咽喉が焦れるやうな氣がする。

◆それより傷悲慘な滑稽を演じてゐるのは湯屋で、大抵は休業日錢の入らぬ商賣が俄かに斷水から斷錢の憂目に會つて眼を白黒してゐる朝夕一回の給水を待てソッと湯槽の蓋をあけ正味四五時間の營業を續ける處は算へる程しかない、それも『お馴染以外のお客はお斷り』『上り湯使用一錢』など、八ツ當りに當り散らしてゐる。

◆殊に毎日錢湯で一時間以上も磨き上げる婦人などは大恐慌で『湯水澤山使ふ人は御斷り』と女湯の暖簾に堂々と張り出した向きもあり、異餘の金盥ホッと一息吐いて曰く『やれ〳〵是で少しは樂ができる』と、實際はそんな笑事ではない、敝郷の如き神戸市民は生死の境に臨んでゐる、今迄閑却された井戸屋を急に呼んでも限りある人力の到底追附きそうもなく、雨乞の窮策も講ぜられて、目下の處水！水！の叫びを聞く、目下の神戸は暑く苦しい焦熱の地獄である

●浮び出ろコレーツの殘骸
鐵類暴騰の影響を受けて沈船の引揚大流行
仁川港からはコレーツ[illegible]が引揚げらる

日露戰爭の火蓋が切らるゝや仁川沖で眞先に血煙を揚げられたのはワリヤーク、コレーツの二艦である事は三歲の兒童も知る處であるが其後ワリヤークは引揚げられ殘るコレーツは世人の記憶と共に果敢無くも仁川海底の藻屑となり終る處であつたが浮ぶに浮ばれぬ魂魄も歐洲戰爭と言ふ砲彈の餘緖に救はれて十有餘年にして再び錆を洗つて

◎世界戰爭の舞臺に◎上るとは數奇の運命とや言ん實にも運命の神樣は不可思議の因緣を繰つる哉かな、と言つた丈では判斷も出來まいが歐洲戰亂の結果鐵類の騰貴は天井知らずで鐵とさへ言へば從來棄てゝ顧みなかつた沈船に多大の費用をかけて迄も引揚げ樣と言ふのであるから一般を推して知る可きで

◎コレーツの殘存物◎も又然うした思ひ掛けぬ時局の影響の爲めに引揚げられる事となつたのである計畫者は仁川旅館に止泊中の笠井慶太郎氏で同氏は既に總督府に引揚許可申請書を提出したが所管の違ひと言ふので更らに海軍省に出願の準備中であるとの事であるが一說に依れば海軍省では某方面に引揚を許可し其結果今明年中には引揚作業に從事す可しと噂され居る程であるから早晩何人かの手に依つてコレーツの

◎殘骸も浮び出づる◎であらう、笠氏の調査に依ればコレーツ殘存鐵類は約十四箇程砂中に埋まり四尺位づゝ頭を出して居る相である尚三年前コレーツの沈沒海底より更らに數哩沖に沈沒した南越丸（二千噸）は厩田組より瀨戸愛助氏に賣拂ひ同氏はボイラー二筋其他の鐵類を引揚げ白翎島に沈沒したトロール船眞惠丸も又笠氏の手に依つて目下引揚作業に著手中で作業船弘丸は數日前現場に向け出發した

◉木石書會と作品
（大阪支局　B生）

素人書家の久保田天南氏を中心として円宵の道に志ざす人達二十餘名が木石書會といふのを作つて眞面目に繪の研究をしてゐるといふ事は先達て記したが、二十九日の午前九時から

◎その展覽會を旭町の白水に開いた、何がさて二百二十餘點の半折畫を疎らず陳列した事とてさしもに廣い白水の大廣間は勿論二階の各部屋に至るまで壁間、欄間の殆んど全部は會員得意の大作小品の書幅によつて寸隙さへ剩さぬ程に掲げつくされてゐた、各々職務の

◎餘暇に彩筆に親みつゝある素人とは言ひ條、道がに幾たびかの試練を經て公衆の批評を求めようとするものだけあつて作品にはすべてを通じてその自信が畫面の上に躍つてゐたので多くの作品中筆致や

◎色の出し方には技巧と稚拙の域を脱せぬものが多かつたが、その代り拙いながら品格の掬すべきものがあり、神韻縹渺の趣きのある畫のあつたことは特筆すべきであらう、筆者は二十人ばかりとの事だつたが、その内で

◎特に注意を惹いたのは十一歳の木村南香女の南畫風の山水淡彩の花鳥戲點と古城天洗氏の多作此の會での先進久保田天南氏の粘れた筆等の外松田學鴎、成田碧石、工藤文哉、金海岡氏等の書畫十點ばかりが交つてゐたのであつた觀覽者は

◎朝から續々押掛て『出來不出來は問題では無いが、よく是だけに集めたものだし、こういふ事は高尚な娛樂としていゝ思ひつきですね』など許し合つてる人があつた、それから十二時に出陳畫全部の抽籤を行なひ、會員の席上揮毫もあつた

◉西本願寺別院（若草町）三十日午後九時より明治天皇御正忌勤修松原輪番の『御傳鈔拜讀』の法話あり

一諸の砂一

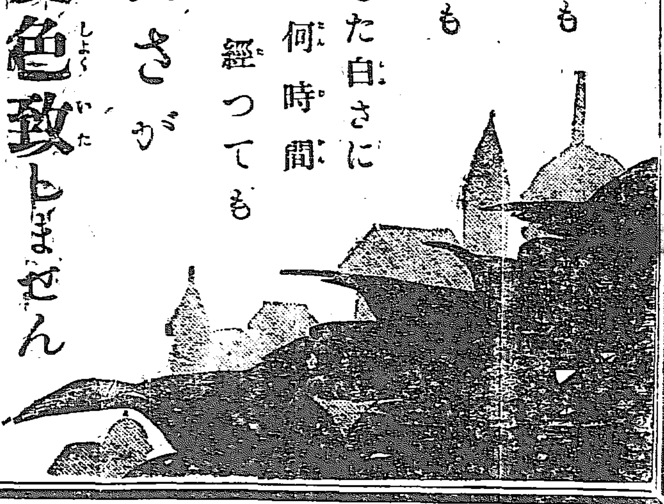
◉活動見たさに　全州市外花園村後藤乙松（一九）は軍服を盜て居れば活動寫眞が半額で見られるからと思つて惡懸の爲め陸軍の實兵某伍長の軍服を盜て兄に成り濟まし二十日夜活動見物中を熊本憲兵隊の憲兵に看破された

◉遺骨を抱いて　石川縣能美郡尾口村西田とよき（二九）は夫と共に來天で貿易商を營んでゐる内夫は此の冊病したので歸國の途中二十日遺骨を抱いて山陽線三田尻附近を進行中の列車の中で男の兒を安産した

◉女生徒の縊死　福岡縣三瀦郡大塚尋常小學校六年生〇〇よしの（一二）は十六日朝家の金五錢を盜んで酷く叱られ翌日は學校で放課時間中惡いたをしたので受持教師から訓戒されたので一時に逆上し學校脇の山の中で縊死を企て居るのを發見され手當を加へたもので辛つと蘇生した

◉日本刀で串刺　大分縣西國東郡三重村大工岡田竹松（五九）は十九日夜妻の内縁の夫土屋勝次郎の腹部に日本刀を刺し貫き即死せしめた

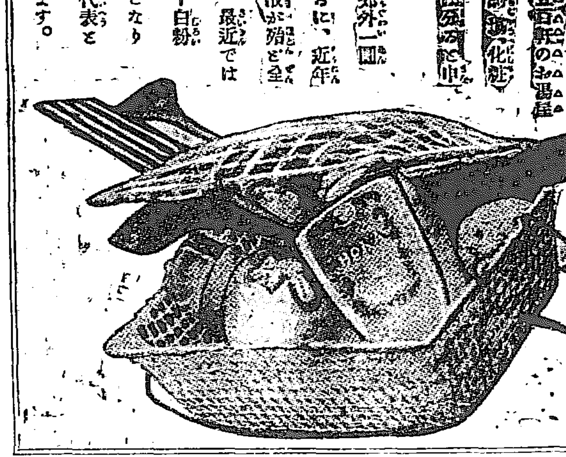
◉若夫婦情死　岡山縣美作國津山町の醫院の中に二十五日抱合情死を遂げたのは苫田郡大野村山田只保（二四）と妻なる夏子（二〇）とで只保は中學卒業後夏子を娶り睦じく暮して居る内只保の弟時松が肺結核に罹り夏子が其の介抱を爲つたので離緣の宣告を受けた夫れから夫婦は世を悲觀して遂に情死を遂げしと



朝化粧にも夕化粧にも
ハッキリした白さに塗き、何時間經つても
決して白さが變色致しません
一昨秋眼科試驗、化學試驗の結果、最近全國三百餘新聞紙上に發表せられつゝあれば、就て優秀無比なるホーカー白粉の眞價を知られたし

夏の强き日光を防ぎ化粧美しくヒヤケを防ぐ
ホーカー白粉

京城の中の白粉投票に當籤第一等を得



最近流行の白粉！
最近調査は五百軒のお湯屋
次第の流行の反影は都鄙の化粧品の流行は浴場に行けば分ると申します。
その浴場の市中及郊外一圓五百餘軒に就て調査するに、近年白粉下としてホーカー液が殆ど全部獨占して居ましたが、最近では更に白粉は全部ホーカー白粉が使用せらるゝの盛況となりました、兩品が流行の代表となつた事を愉快に感じます。

一瓶　アーチ型箱入　金二十五錢（送料内地無料滿鮮卅錢）
進物箱入　ホーカー白粉三本　美術箱入　金七十五錢

◎中元暑中の御進物　としてホーカー白粉三本入の優雅なる進物函（定價七十五錢）調製可仕候
最寄の店に品切の際は振替又は三錢切手代用にて御注文下さい

ホーカー液　ホーカー白粉　ホーカー美髮液　ホーカースポイト
東京神田和泉橋　本舖　堀越嘉太郎商店　電話長　四四一三　五五四六　振替東京

演藝案内

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　櫻井町　大正館　電話八七三
……

早川演藝部直營　有樂館
……

京城壽町　壽座　電話七五八番
キネオラマ應用悲喜劇出一行
△望み通り（笑劇）二場　△故郷（悲劇）一場　△短氣者（喜劇）一場　△闇の光……

電話二三六六　黄金館
……

明治町　浪花館　電話二六二三　東京落語雷門助六一行
七月二十八日より開演
……

富の道しるべ　京城太平通　振替三〇〇番　京城日報社代理部

七輝子　送葬の際は暑中……深謝候尚略儀以紙上御禮申上候　七月二十八日　宮崎吉太郎　親族一同

明君道中記

第二百廿一席　田邊南龍口演

松平長七郎に訊ねられたる時又兵衛は頭を掻いて　又『イヤお客様飛んだ處を御覧に入れて恐れ入ります、彼れは客人ではございません近所の若い者が大勢集りまして悪戯をいたして居るのだ　長『何を悪い事をして居りますので　又『憚う申し上げると甚だ恐れ入つた譯でございますが私は素此の土地で博奕を渡世として居つたものでございますが追々年を老ると考へが出るもので、何時まで遣つて居る稼業でないと思つて只今では子分の長吉と申す者に跡を譲つて私は堅氣になり旅籠屋渡世を始めました　長『ウム』又『處が近所の若い者に座敷を貸せと云はれ素が繁で厭とも云へません、無據貸ましたやうな譯、毎夜若い者が集つて貴下方の御存知ない處だが博奕をいたして居ますので　長『ハ、ア、博奕を致して居るのかそれは面白い、予も參てその博奕とやらを致す故案内を致くれ　又『イヤ御武家様なぞが被居る所ではございません　長『宜いから連て行け』と長七郎又兵衛と同道して下座敷へ来ると一間の中では大勢の博奕打が車座になつて勝負をして居ります、長七郎はそれへ入つて　長『コレ／＼其方共は面白い事をして居るな、イヤ予も一緒に遊ろ』とそれへ坐つた皆々は驚き　○『親方何んでお武家様なぞを連れて來たのだ　又『何んでも遣りたいと云ふからお連れ申したのだ　長『予は博奕と云ふ事を一向に知らん故教へてくれ是は何んだ』と賽を取上げた　○『それは賽でございます　長『ウン　○『全體その賽と云ふものは方向を定める爲に拵へたもので一天地六南三北四東五西二と申しましてお釋迦様が拵へたと云ふ話し　長『何釋尊が造りしと　○『お釋迦様は五百羅漢と云つて多數弟子がございますから修業に出る時に此賽を振せますので五ツを振れば東五と云ふから東へ出します二ツが西二と云つて西へ行く南三と云つて三ツを振れば南へ出掛ける四ツを振れば北四で北に行きます。一を振れば天へ昇るのですが天には蛇ではなし昇れませんし地六と云つて六ツを振れば地の下へ行くのですが地の下には行かれません、乃で一と六を振つたものは一六のどんたくと云つて休ませます△『ヤイ／＼落し噺をするな　○『賽の目の話をして居るので　長『此の賽を持つて勝負をするのか　○『賽を二つ伏て丁半の目を爭ひますので　長『成程、それで相判つた、予も張らう　○『お廃んなない、丁ですか半ですか　長『丁と半と兩方へ張る　○『冗談云つちやア叶けません、兩方へ張つた節には勝負がつきません』始めの中は懲う云ふ工合でありましたが悪い事と云ふものは覺わ易いもの長七郎が賽の目を覺ねてしまひ、又翌晩木鼠三次を連れて下座敷へ参り　長『サア／＼三次、予が筒を取るから其方は張方になれ』とそれへ坐して　長『皆の者此の男は予が家來ぢや何分頼むぞ　○『エー御前一人も大勢の方が宜しうございます、御家來のお名は何んと云ひます　長『是は護摩灰だ　○『何護摩灰だと、飛んだ者を連れて來たオイ／＼皆氣を付けろ泥的が來たから紙入や煙草入を懐中に入れる袂に押込むと云ふ大騒ぎ　三『ヤイ／＼此奴等、安心しろ俺はたこんな所で吝な仕事はしねい、東海道中仙道で誰知らぬ者の無い木鼠の三次とは俺が事よ　○『音羽屋アー　三『誰だね馬鹿にするねい　○『それじやア木鼠の三次親分は貴下で、ヘエー護摩灰のね　三『護摩灰／＼と云ふねい人聞が悪い』人間の悪いなぞと云ふ柄ではございません、長七郎は毎夜のごとく此所に來る、懲うして博奕に耽つて居りました

八月二日

舊六月十五日　丙子　本命九紫　南　取　友引

▲九紫● 見切のつかぬ事有日新事見合西方は吉 婚姻南▲一白● 自ら情に悖る事有日新事手控可 事は吉萬親切にせらるべし▲二黒● 志多和敗日 轉居開業等皆吉女子の心変な知られて立身な防ぐ大吉祥の日也▲三碧● 貧を得る日轉居旅行入學名弘金件縁組久病の薬を求る等皆吉▲四緑● 披拂よき日轉居行商用出名弘求職種上金談婚姻新事を求る等萬吉▲五黄● 着眼的中の日轉居旅行入學求職金件婚禮定期取引等皆吉▲六白● いやな事多き日新事手控惡事は吉 女子は心を許にもたるべし▲七赤● 覗の狂ふ事有日 新事手控惡事は吉一切のかけ事を禁す▲八白● 强力の日轉居入學求職名弘探金談婚禮等皆吉物に勝つ日

▲書籍御案内▼

民友社校訂　假名 貞觀政要　價一〇〇 郵税一〇
德富猪一郎　世界の變局　價二五〇 郵税一八
岡本　牛　價一〇〇 郵税一〇
米藏 三版　商工界の七十日　價五〇 郵税六
同 壹版　修學行商日記　價三五 郵税六
同 二版　紐育市内外の地所　價九〇 郵税六
民友社發行　女義士傳　價五〇 郵〇八
村上浪六 後編　稻田一作　價七五 郵〇八
桃川如燕　名婦傳　價六〇 郵〇八
早川貞水　赤穗義士傳　六册 各價四五 各郵六
松林伯知 桃川如燕　御前講談　價七五 郵一〇
社編　理想の家庭　價五〇 郵〇八
玉一 乃熊　撞球指南　價一五〇 郵税一〇
同　月江和尚錄　價一〇〇 郵税〇二
德富盧花　外交奇譚　定價二五 郵税〇四
同　自然と人生　定價三〇 郵税〇四
同　青蘆集　定價二五 郵税〇四
同　青山白雲　定價二五 郵税〇四
同　探偵異聞　定價二五 郵税〇四

京城日報代理部(振替京城三〇〇)

御料　御園白粉

御園白粉及御園化粧品は畏くも御料に召させ給ふ本邦唯一完全優良なる化粧料にして最新の科學に依り原料と芳香を精選し皮膚の衛生と美容の目的に適ふ配合を以てし冗費を省き包裝を飾らず實質を本位とする化粧品なり。

御園白粉は純無鉛製にして殺菌消毒を施したれば安全なるは勿論永久の保存と氣候の變遷に堪へ効能に變化なく濃淡自在乘りよく伸びよく斑點を生ぜず生れ乍らの美さを現す事化粧品界に其比を見ざる白粉中の模範品なり。

ねり製 御園白粉
水白粉 御園の月
粉白粉 御園の花
打白粉 御園撫子
懐中用 御園紙白粉
濃厚化粧水 御園四季の花
化粧水 御園の露
濃化粧用白粉下 御園の蕾
洋風化粧料 御園クレーム
花精 御園香精
化粧香水 御園の橘
頭髪水油 御園香油
粉製歯磨 御園歯磨
日焦防止化粧料 御園ルチゲン

本舗 伊東胡蝶園　發賣元 丸見屋商店

眼科専門

京城本町四丁目カル、ス温泉横(電一五五六)
金井眼科醫院
日曜祭日午時中
金井豊七

優等清酒

福岡縣三井郡山川村
醸造元 富安本店
京城永樂町二丁目
發賣元 富安京城支店
電話局一〇三九番 振替口座四三九番

内科 胃腸病

診察夜九時迄

京城本町一丁目
石川醫院
電話一二三七 九二〇九番

是れ！是れ最高能率を有し眞に理想的なパイン萬年筆を直ぐ御買ひなさい!!

◎大日本政府登錄 米國製正十四金「イリジューム」付ペン (責任保險付)

"PINE"

堅牢無比

◎附言 パイン萬年ペンは自然の破損又不具合の節は滿一ヶ年間交換又無料修繕
完全なる設備と老練なる技術者に依る各種萬年筆即時修繕

京城旭町二の六
東京パイン萬年筆出張所

定價
摺出式 六圓八十錢
押出式 五圓三十錢
インキ止短軸 四圓九十錢
最新婦人用 三圓八十錢
インキ止實用 三圓八十錢

發賣元 京城大平通一丁目 京城日報代理部 振替京城三〇〇番
陳列所 京城本町二丁目 ウツボヤ書店

消化と毒けし

仁丹

ボツ／＼こ惡疫の流行する時分誰方も仁丹召上り御用心が肝要!!

金言 ■民信なくんば立たず (孔子)

醇良清酒

大阪府堺市
醸造發賣元 肥塚源次郎

京城本町一丁目
特約販賣店 佐藤牧太郎 (電話長二九番)

京城日報

七月三十日
（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金二錢五厘一ケ月金五十五錢郵税一ケ月金拾五錢〔一ケ月分前金三ケ月分金二圓十錢（郵税共）〕……

廣告料　五號活字十六字詰壹行金八拾錢……

發行兼編輯人　奥田直□
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社

第三版

□□□□廣東其不法を鳴らし支那政府より露國駐剳露國公使をして露國政府に交涉□□□□□

……ペトログラードに於て華工會を組織し□□□事務を擔任總理し訴訟を收受して衝突を解決し一般生活の保護を爲す事▲完全なる勞動契約を締結し在露一切の華工を取締……を支那公使館に通告する……募集に關する法令及び其他一切の條例は露國政府より支那政府に知照する事▲華工にして衝突若くは暴動を爲すが如きことあらば地方……命令によりて……

……の輸出多きを□へ內地へは專賣局……の販路に多大の……輸出を爲すの外北……り奨に……な唱道せ……生產は昨今兩年……之れが處分に就き多大の苦心を拂は……ざるべからざる狀況となり早晚南洋……

◎滿洲藍奨勵

……

明治天皇五年式年祭

明治大帝と大陸統治政策

我が帝國が曠古未曾有の□□を啓き、立憲の大業を奏し、日清日露の兩大役を興し、南は臺灣を領し、北は樺太を割き、更に進みて韓國を併合し、關東州を租借し、歐洲大戰起るに及び、南洋諸島を占領し、國光を宇內に宣揚するに至りたる所以のものは、維新以來、文武俊傑の士、身を挺して局に膺り、善く國運を指導したるの致す所なりと云ふと雖も、之れが中心點を求むれば、畿として我が明治大帝の御稜威に由らずむばあらざる也。

明治大帝が、國民崇拜の中心と爲り、國家統一の中心と爲り、國運指導の中心と爲り、其の盛德大業、日月の如く、愈々久うして愈々光輝を發する所以のものは、他無し、善く時代の進運に應じて、帝國の宏謨を恢弘したるに在るのみ。其の所謂帝國の宏謨とは、六合を兼ね八紘を掩ふの皇猷にして、帝國的植民政策の確立、平和的世界政策の實行、是れ也。臺灣統治、韓國併合、滿洲經營の如きは、卽ち此の植民政策及び世界政策の實現せられたる結果にして、畢竟するに 明治大帝の御遺業の一なりとせざる可からず。

韓國併合は、東邦永遠の平和を維持し、將來の安寧を保障するの必要より斷行せられたる大業の一にして、當時 明治大帝の渙發せられたる詔書中にも、左の如く宣給ひたり。

韓國皇帝陛下、及び其の皇室各員は、併合の後と雖も、相當の優遇を受くべく、民衆は直接 朕が綏撫の下に立ちて、其の康福を增進すべく、產業及び貿易は、治平の下に顯著なる發達を見るに至るべし。而して東洋の平和は之に依りて愈々其の基礎を鞏固にすべきは 朕の信じて疑はざる所なり。

韓國併合以來、玆に六星霜、韓國の民衆は、帝國綏撫の下に、其の財產と生命とを保護せられて、其の康福を增進し、產業及び貿易は、平和無事の裡に、著大なる發展を遂げ、昨は饑□□豐にして何ぞ菜色あるを免れざりし、窮民が、今や熙々として鼓腹擊壤、泰平を謳歌し、昨は荒烟落日、亡國の愁を帶びたる山河が、今や佳氣溢々たる風色を呈し、權域十三道其の面目を一新し、而かも本年に及び、終に李王殿下の東遊を見るに至りたるものは、是れ實に 大帝詔書の旨趣の實行せられたる結果にして 大帝の韓國統治政策が、崩御後五週年に於て、確かに優秀なる成績を奏したるを證するものに非ずして何ぞや。

豈に啻に韓國統治政策が、優秀なる成績を奏したるのみと謂はんや 大帝の大業が、滿洲經營政策に於ても着々其の效果を收めつゝあるは、吾人の欽仰せざるを得ざる所也。現に今回寺內內閣に於て實行せられたる關東都督府の官制改革、南滿洲鐵道會社の組織改革、並に鮮滿鐵道統一の如きは、滿洲經營に對する根本的改革にして、此の改革が大陸統治政策の實行に向て、百尺竿頭に一歩を進めたるは勿論。吾人臣民が 明治大帝の宏謨を恢弘し奉り、亞細亞民族をして其の餘光を仰がしむる所以のもの、亦未だ嘗て此に由らずむばあらざる也。

嗚呼 明治大帝の聖德や、廣大無邊、之を仰げば愈々高く、其の宏謨悠遠、能く萬世に垂るゝものあり。吾人臣民たるもの、之を奈何ぞ獻身努力、進みて其の聖德を發揚し、其の皇猷を恢弘することを期せざるを得むや。吾人は 大帝五週年忌に際し、景慕の情禁ずる能はず。乃ち一言を述べて以て追悼の辭に代ふと云ふ。

誰（27）

布施生譯

阪は呆顏に此說明を聞いて居たが此時思はず吾と吾頭をぴつしやりと叩いて『成程、いや脫つた。』『見ろ大脫りだ、こんな證據が眼前にあるのに君はそれを調べる事すら忘れてゐる、之が今度の探偵の鍵だよ、あの撥劍から犯人が上るんだよ。』阪はもう全然我を折つて『大探偵、いや先生、貴君はもう此一件を御檢べなすつたのですね。』『うむ少しは檢べもしたさ、しかし己は現場を見た次第ぢやないから、或は大事な證據を見落してゐるかとも思ふ、さあ、まあ坐れ、坐つて君が知つてる事だけ殘らず話へてくれ。』

阪はもう隱す氣もなく自分が調べあげた一伍一什を大探偵に打明けたしかし流石まだ少し嬌飾家な所があるので、昨晚美那子と見知らない太つた男とを尾行して器量惡く籠脫を喰つた一件だけは弱と其まゝ藏つて置いた。聞終つた大探偵は機嫌よく『左樣か、御苦勞〳〵、だが阪、まだ何か話し落してやしないかい。』意味ありさうに言はれて阪ははつと赤くなつた『やあ、それも最早御承知なんですか。』と云つたが忽ち電光のやうに思當る事があつたので思はず椅子から飛上りさま『あゝさうか、では昨晚の男は貴君ですね、何だ、あゝさうだつたのか。』『間拔けだなあ。』大探偵は莞爾々々と笑つた、阪はそれを見ると勇氣が出て『私の變裝はどうでした。』『可なり巧かつた、しかし阪、身裝や附髯だけでは變裝は駄目だよ、大事なのは眼だ、眼を變へなけりや不可、眼を。』さう言つて大探偵は自分が始終眼鏡を使ふ理由と其の使ひ樣とを誨へてくれた、阪はこゝでも我を折つた『成程、私は駄目ですね。』もう高慢も折れた樣子をみて大探偵は優しく『何、失敗は介意はんよ、人間は失敗するものさ、唯、君のは柄にも無い仕事をやりだしたのが缺點だつた、何しろもう少し確固しないと、惜しい事だが君は一生助手で終るぜ。』大探偵がこれ程機嫌よくこれ程諄々と誨へてくれるのは珍らしい、全く今迄に無い事である、阪は嬉しいながらも同時に後が怖ろしく氣味惡る〳〵聽いてゐたが、軈て勇氣を出して『一體貴方は如何お見込がついて居るんです。』と尋ねてみた、大探偵は首を振つて『いや事實は己にも君の見込以外には何も見込は無いよ、君の考では鈴富が無實で保部老人が怪しいと云ふのだらう。』『左樣です。』『處が己はまだ其處までは分らないのだ、己は君の後から一件を調べかけたので今やつと序論位の處が出來かけたばかりだよ、只一つ確實な手懸りと云ふのはあの金庫の撥劍だね、あれがまあ己の出發點さ。』話しながら大探偵は机の中から、何時の間に撮つたのか、例の金庫の寫眞を取出して擴げてみせた、合せ文字が丁度五つ並んで出てゐて鍵口が少し高くなつて居りそれを、斜に橫ぎつて例の撥劍がついてゐる、大探偵は一々指で指示しながら『この劍は鍵孔から斜に右下へ走つてゐる、室內の金庫の位置から云へば頭取部屋へ通ふ扉子の方へ走つてゐるんだ、そして鍵孔の邊では可なり太いが終へ行くと薄く掠れて殆んど見えない位になつてゐる。』『さうです。』『君の意見では之は金を盜んだ奴が誤つて引搔いたんだと云ふのだな。』『さうです、違ひましやうか。』『待て〳〵今一寸實驗してみるから。阪此處に金庫同樣ワニス塗の手筐がある、鍵を持つてそれを引搔いて見給へ。』何を言ふのかと怪しみながら阪は鍵を取つてすつと筐を搔つてみたが駄目だつた、幾度やつても鍵は筐の上面を辷るばかりで全然劍なんかつきさうにも無い。

日報詞壇

○偶成　齋藤三雷
吟竹稜稜去闇幽。孤鞭揮却幾時休。蕭□綠際求涼夕。追憶咸山未服裘。
評曰　眞情極切

○題佛國寺瓦　一番瀨聖山
荒唐傳怪夢。古刹留幽林。片瓦堅如鐵。叩之錚有音。
評曰　句短情長

□隈部少將を送る　角川不案
白雲の陸ぶしく光り滿洲はいまんしんと夏たけぬべし
……

□夏十句　野村鴨原
島の茂りに船寄せて瓦積む男
朝の光りを囀きかはす茂りの雀
川狩のビク提げて町の灯を戻る
川狩の子供等に雷遠うのけり
じつと動かぬ天井の蠅夜深し
蠅が飛び居る靜けさの晝なり
瓜小屋の蚊帳あほつ海の風
兒が寐し蚊帳揺れて晝の風少し
夏の月の蒼穹に大樹揺れて居り
日向爽うなたれて夏の月高し

朝鮮公論

□□□□□□□□
內地、臺灣、支那、朝鮮各地書店に在り……
▲購讀申込所…… 京城太平町　朝鮮公論社　振替京城一五七七番

八月號

米露と日本……長瀨ドクトル
官僚と政黨と國民……湯原元一
民主的傾向と我が國體……井上哲次郎
東拓の新使命……朝鮮公論社長 牧山耕藏
牧師と私娼……岡田東督 人見次郎 ◆保護會社……岡村左右松
◆朝鮮と事業家……太田秀穗
◆在鮮教育家に苦言を呈す……太田秀穗 ◆大連の航路擴張問題 ◆夏と雄心……欣堂
戰後大陸經營の一策として我社が提供したる一大提案に對する諸家の意見……一大提案とは何ぞ
▲日支の經濟的連鎖……
▲新興帝國の大使命……
▲吉會線の二大効果……代議士 野田卯太郎
▲國勢北進の大幹線……朝鮮銀行 長阿部秀太郎
朝鮮の化學工業……中央試驗所技師 今津明
最近鑛業一覽……有馬
◆持地六三郎論 ◆最後の一戰…… ◆役人の制服問題 ◆白搭放語（社同人）◆公論餘滴 ◆八月の家……不案 ◆凉風一過 ◆財界時言……撥器子 ◆五階の窓 ◆讀者の聲 ◆運動家一百人 ◆くらべ ……欣堂 ＝春秋 易水
山か水か──當代文士數十名執筆、天下の山水紙面に躍動
夏と肥人……醫學士 瀨戸潔
眼の美しい藝者……兵衞 彌次郎
生の肉……
朝鮮と緬羊事業……農學博士 本田幸介
植民地と企業組織……東拓理事 川上常郎

淑女画報

□一冊廿五錢稅一錢五厘
□六冊前金一圓四十五錢

八月號　鮮麗無比の畫報　一部の一頁十餘四

都會と田園　定價三十錢（郵稅二錢）東京 博文館發行

■田園避暑の久邇宮三殿下
△嵯峨侯爵令息令孃の田園生活
△テニスコートの池田侯爵令息令孃
△京都郊外山科の里の盛花會々員
■養蠶から製絲まで……（田園生活）
■三越から帝劇へ……（都會生活）
△愛國婦人會の新舊會長と幹部
△貴婦人の禮帯巻き納會と紋染講習會
△三實業家令孃の趣味くらべ
■何所から何所へ（□□□□）
■誌上納涼　島巡り十二景　近藤浩一路

一粒選りの好讀物　（百餘頁中の要目）
■簡易生活……（婦人講話）市島謙吉
△一家四人らすの屋外晚餐會……三輪田秀子
△胎兒に影響する母の境遇……市內博士
△婦人の妻の告白……（家庭悲劇）みをつくし
△女性を主人公とする謠曲……和田萬吉
■鶉の肉と卵……平山美佐男
△京都裏千家の努力……汗木妙子
△夏季衞生安全第一の飲食物……石塚右玄
△諷刺『求女家庭教師』……奥野他見男
△鬼面とオタフク面を彫る心……井上住
■貞女烈婦……（消史作話）郊外道士
火焔の犧牲（女學校ロマンス）……T女記
瞬流……（數奇實話）小杉幸子
愛の勝利（長篇家庭小說）……小栗風葉

株式會社第一銀行 第四十二期營業報告

貸借對照表

負債之部

科目	金額
資本金	貳七、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
積立金	壹〇、五五〇、〇〇〇・〇〇
諸預金	壹八、五五五、六貳九・參貳
（公金預金	五一七、八九〇・一四
當座預金	四參、七七壹・四參
特別當座預金	七〇、九五五、九參〇・〇八
定期預金	八參、八五五、貳七〇・〇四
諸預金）	八六、五五五、七〇〇・六三
他店勘定	參、八〇貳、五四五・五九
賣渡外國爲替	壹、八〇五、壹九五・五九
仕拂承諾	壹、八四參、五八六・三八
借入金	參、五〇〇、〇〇〇・〇〇
銀行券銷却資金	五、壹貳貳、〇〇〇・〇〇
本支店間未達勘定	參壹壹、八六七・九六
未拂配當金	六、五貳〇・五六
未拂利息及未經過割引料	壹、八八壹、八五五・九五
前半季繰越金	八壹九、五參五・九參
當半季純益金	壹、七六六、參參四・四五
合計	貳四〇、七六八、七四參・九參

資產之部

科目	金額
未拂込資本金	六、四五〇、〇〇〇・〇〇
諸貸出金	壹七五、貳四五、五參六・九七
（貸付金	壹〇、〇五壹、四〇參・壹參
當座預金貸越	壹〇、〇五〇、〇〇〇・〇〇
割引手形	壹七、〇貳〇、貳〇壹・七三
荷付爲替手形	五四、七壹〇、〇七七・六九
他店勘定	貳四、六壹九、〇〇壹・九
買入外國爲替	參、參〇壹、八四九・〇七
仕拂承諾見返	壹、八四參、五八六・三八
諸公債證書	壹、八〇四、六八〇・八八
諸外國債社債及株券	六、參五四、九參六・〇六
營業用土地建物什器	貳、八壹貳、四七八・壹七
所有不動產	壹、九八七、八六〇・六八
預ケ金	壹、貳〇〇、六壹參・壹五
現金有高	七九六、〇參四・參參
合計	貳四〇、七六八、七四參・九參

利益金勘定

科目	金額
當半季純益金	壹、七六六、參參四・四五
前半季繰越金	八壹九、五參五・九參
合計	貳、五八參、八七〇・三八
內	
役員賞與金	八五、六參〇・〇〇
行員恩給及退職給與金	參四、貳五〇・〇〇
積立金	七〇〇、〇〇〇・〇〇
舊株配當金（年壹割壹分）	六五七、貳五〇・〇〇
新株配當金（年壹割壹分）	貳〇六、九參七・五〇
後半季繰越金	八四八、壹參壹・八八

大正六年七月
東京市日本橋區兜町壹番地
株式會社 第一銀行
頭取 佐々木勇之助
取締役男爵 三井八郎次郎
取締役 熊谷辰太郎
取締役 日下義雄
取締役 佐々木愼思郎
取締役公爵 德川慶久
取締役 田中源太郎
監査役 土岐僙
監査役 尾高次郎
右各項調査シ其正確ナルヲ保證ス
追而取締役佐々木勇之助、三井八郎次郎、熊谷辰太郎、日下義雄、德川慶久及監査役土岐僙、尾高次郎ハ任期滿了ニ付改選致候處總テ再選重任仕候

移轉廣告

今般市區改正の爲左記の處へ移轉仕候
京城長谷川町四十二番地（朝鮮銀行横）
ヒオキ商會
電話一二貳二番

◎貴州軍の城內砲擊

貴州軍は漢口城內を砲擊し城內大火災起り外國婦人數名燒死せり(漢口電報)

◎第二艦隊對民黨聯絡

長江の各要地に碇泊中の第二艦隊は民黨との聯絡成立し不日中央政府と斷交すべき形勢にて湖北、江西、江蘇の各砲臺は非常準備中なり(上海電報)

◎民黨側援助を乞ふ

民黨側は段總理の民黨壓迫計畫に對し之に對抗す可く英米佛の三國に援助を求む(上海電報)

◎露軍一個師團全部死刑

味方の砲兵砲擊す

モーニング、ポスト露都通信員發電 コロニロフ將軍は陸軍叛逆人の唯一救濟策は死刑執行なりとの兵卒代表會議の決議を早速履行して戰線に於ける第十一師團全部を味方の砲兵を以て全滅したり此の第十一師團は飛行機、飛行手、英國裝甲車を以て十二分に裝備せられ其砲兵は理想的の砲列陣地を布き居りしが其の步兵隊は退却するに從ひ馬匹を得んとして味方の砲手を射殺したり此の結果砲は捕獲され第八軍團を救出する望絶ゆ同軍團はよく難を免れ得るや否や疑問なりしがロカトランプスンの指揮せし英國裝甲車隊の驍勇に依り辛ふじて不名譽の潰亂より免るを得たり 同隊は戰線に留り絶對に何等の援護をも受けず進擊し來る獨逸軍と戰ひたり(倫敦電報)

▲露國コルニロフ將軍は軍紀振肅を圖る爲め戰線の第十一師團全部を味方の砲兵を以て死刑に處せり(倫敦電報)

◎佛軍猛擊陣地奪還

二十四日佛軍は粉碎的の猛擊を獨軍に加へ獨軍が四日を費して奪取せしクラオンヌ高原の諸陣地を僅々一時間にて奪還せり(倫敦電報)

觀瀾亭雜俎

蘇峰生

○安川君敬一郎、『左傳纘考』一部を寄せ示さる。是れ筑前の龜井昭陽先生の、自著自筆の原本を、寫眞金屬版に附して、刷行したるもの。三十冊一千八百餘葉、別に附錄、補の二冊を添ふ、合計三十二冊、約二千葉に上る可し。奇古の文字を書するに、奇古の筆意を以てす。始終一貫、寸毫も爽はず。遒老氣魄の豪强にして、精力の橫絶を見る可し。眞に書籍界の偉觀たり。

○龜井氏道載、昭陽父子は、貝原翁以後に於ける、筑前國一の大家也。但だ貝原翁は、平易なる文字を藉りて、世俗を敎化し。昭陽先生は、胸羅萬卷、好んで佶倔聱牙の古言を驅使す。李王古文辭の已に流行後れとなり、徂徠學派の漸く衰運に際して、鎭西の一角に、悍然として一家の門戶を張るもの、是れ豈に豪傑の士と云はざる可ん哉。

○故竹添翁の『左氏會箋』を編するや、世或は之を目して、昭陽の『左傳纘考』を剽竊したるものと做す者あり。されど是れ翁に取りては、大なる冤罪也。會箋は讀んで字の如く、支那、日本、古今の大家、名家の說を、參稽し、之を會通したるもの也。翁が各項に就て、說者の名を明記せざりしは、是れ其譏を招きたる所以なるも。其の殆んど前人の意見に折衷したるもの多きとは、該書の例言に於て、特記せられつゝある也。之に反して、此書は何處迄も、龜井氏三世の家學を擴充して、其の本領を發揮したるもの也。乃ち本書の眞價は主として、龜井氏の一家言たるが爲めにあり。其の縱橫に批議して、前に古人なく、後に來者なき態度にあり。

○著者曰く『祖考以來、崇戴三世矣、深知其爲孔門遺文、非孟荀以後所敢望也、魯君子左丘明、成左氏春秋、太史公籍之』と。是れ彼が左氏傳に對する立脚點也。吾人は此の立脚點に就て、尙ほ考慮の餘地あるを信ず。吾人は左傳を目して、孔門の遺文と認むる能はず。然も『左傳纘考』が左傳研究者に取りて、一大寶典たる可きは、疑を容れず。

○彼又た曰く『自有左氏以來、蓋未有下深知而篤信之、如我三世者上也、則元凱仲達、其討論之者歟、其推克術衡之者、吁々海外獨有龜氏也夫、悲哉宇宙之乏其人乎』と。彼の自惚や此の如く眞面目也。而して今や百載の後に於て、安川氏の力に藉りて、此書世に出づ。是れ獨り昭陽先生の爲めに、知己を得たるのみならず、其の學界に裨補するや、寔に大なりと云ふ可し。吾人は世の富豪が、這般の事業に於て、單り安川氏に、美を專らにせしめざらんことを、望むや切也。

◎講和前途遼遠

一記者

獨逸國民にして戰場に於て屈服するにあらざれば講和時期は容易に到來せ[illegible]態度にこそ出でざれ東西の戰線に於て依然優勢を維持しつゝありて未だ嘗て其の占領地を失はず[illegible]しつゝあるに拘らず而かも講和時期の到來せざるものは職として是れに由らずんばあらざる也[illegible]と雖も獨逸帝國議會が『獨逸國民は擧國一人の如く一致して自己及び同盟國の[illegible]せしめたるに據れば獨逸が降服的に近き講和に首肯せざるや固より論を[illegible]を戰亂の渦中に投せしめむとするも此の演說也」と云ひ英國をして正義[illegible]軍隊の士氣精神を復活し戰爭繼續の意志を鞏固ならしめたることは是れ也[illegible]

◎叛逆者死刑と物議

露國假政府は臨機の策として叛逆の連累者を死刑に處したり之れが首魁たるレーニン伯及びビボウ中尉を死刑に處せんとするや右はケレンスキー首相が强ひて爲せる死刑廢止の宣明に反するものとして政界に一部の反對說起り居れり(露都電報)

◎モルヒネ密輸入取締

政府は今回モルヒネ密輸入の取締を勵行するに決したる爲め滿洲藥業界に大恐慌を起し奉天の藥種業者は二十八日夕大會を開き善後策に就て協議せり(奉天特電)

◎地方官大異動

來る可き地方長官以下の異動には知事中の大頭株二十三名も動くべし(東京電報)

◎蒙古鑛物調査

久原鑛業會社にては蒙古に探險隊を派し鑛物調査を爲さんとの計畫ある

◎製粉工場位置

鎭南浦と決定す

滿洲製粉、朝鮮製粉の二社及び杉浦眞作氏との三者合同の製粉會社は工場の地點に就き爾來折衝に折衝を重ね其筋の意嚮と合致し愈々工場を鎭南浦に置くに決したるが該會社創立申請書は已に起草濟となりたるを以て鎭南浦府廳を經由提出さる可く尙議中諸其他詳細打合せの爲め三者合同を斡旋したる三井物產株式會社京城支店長高野省三氏は來月初旬鎭南浦に赴く筈

◎財政及當面の諸問題

異例の追加豫算＝幸福なる朝鮮＝滿鮮鐵道統一と東拓滿洲進出＝臨時議會の出色問題＝朝鮮財政の獨立＝英文施政年報の外字評

度支部長官 鈴木穆氏談

東上中なりし鈴木度支部長官は二十九日夜南大門驛著汽車にて歸任せり、其の車中談に曰く。

臨時議會は無事閉會を告げ總督府追加豫算は目出度く通過せしこと既に御承知の如し、其の結果本年度の本府總豫算額は約六百二十萬圓に達し之を不成立豫算に比するに殆んど差額を認めず又追加豫算中には緊急事業は總て之を網羅せるのみならず、道路、港灣其他の繼續事業をも包含し公債支辨の事業費は總豫算面に於て一千三百五十萬圓を計上し居れり這は

▲經濟の基礎 尙ほ强固ならざる朝鮮の如きに在りては財政の消長は斯界に多大の影響を與ふ可きこと無論なるを以て豫算の不成立は非常の不祥事と謂ふべきも今回は前述の如く其の總額不成立豫算額に比し殆んど差額なく殊に議會に於ては多少の議論ありしとはいへ繼續事業までをも遂行し得るの運びを得たるは朝鮮に取りて洵に慶賀の至りなり。又た鮮滿鐵道の統一並に東拓の滿洲進出は共に今期臨時議會に於ける提案中出色の問題にて頗る上下の興味を惹けり、兩鐵道の統一は今後の交通をして一層の便宜を得可きは勿論之れに依りて

▲大陸經營上 更に一步を進むるものと做し區々の小問題は兎に角大體に於て朝野の大なる贊成を博せり予は本問題が議會に於ても相當議論ある可きを覺悟し居たるに比較的靜穩裡に可決せしは寧ろ案外の感ありき又東拓會社の滿洲進出に就きては會社に對して種々の注文ありしも多少の皮肉的論議現はれざりしにあらざるも不動產に對する金融機關現出の必要は夙に有識者間の認むる所にして之れに依りて以て徹底せる經營を望むもの尠からず、結局可決確定せしは喜ぶ可し。抑も朝鮮の財政獨立計畫に就きては豫算委員會等に在りても大に注目を惹き其の他財政家方面よりも

▲種々の質問 を受けたり、這は尤もの次第にて一時は母國よりの補給金一千三百五十萬圓に達せし朝鮮が僅か三年にして獨立計畫を樹立し翌年度より之を實行して以て大正七年度に全廢せしめむとするが如きは一見至難の業たるに相違なく假令豫算面に於ては實行されつゝあるも其の間無理不法の處置なきや否やを危む者あるは無理からぬ處なり、之に就きては予は生產の增進と徵稅成績の良好等より財政上常に

▲多少の餘裕 を存せることまで詳細說明に努め、聽者また大に之を了解せるものゝ如くなりき、總督府は大正四年度までの英文施政年報を發行せり之に對する英米新聞雜誌の評論を見るに何れも其の財政及び事業の顯著なる發達に著眼し、殊に財政に於て母國よりの補給は漸次之を減殺し居れるに拘らず鮮人の利益に對する諸施設着々整備しつゝある點に就きては何れも驚異の眼を張り齊しく賢明の處置を賞讚せり、兎に角朝鮮の財政は前述の通り大正七年度を以て母國の補給金を打ち切り大正八年度以降全然獨立の運びを見る可し、此の一事は母國に對して最も肩身廣き次第といふ可く、今後諸般の事項例せば戰後に對する日鮮一體的政策の如きに就きても朝鮮より提案す可きもの尠からざるべきが財政の獨立と否とは其の間非常の相違あり吾人在鮮者は御同樣鶴首之が實現の期を待つのみ。

◎慶北棉採種田

慶尙北道直營棉採種田達城郡月背面に於ける陸地棉發育狀況を當局に就きて聞くに本年の栽培反別は三町步にして播種を了せしは五月四日なりしが其の當時旱魃甚だしく六月上旬に至る迄大部分は發芽せず十二、三兩日の降雨に依り一齊に發芽を見たり而して目下の生育狀況は理想に近き好成績にして內早く發芽せし分四反步の陸地棉は蚜蟲と旱魃との被害に依り却て幾分の遜色あるは奇現象なり概して旱魃の影響を受けて多少生育遲延したる氣味有るも昨今既に全部の追肥を終りたれば今後の雨を待つて肥料充分に溶解したらんには俄かに樹勢を促進し大豐作を見るべしと現に草丈四寸乃至一尺五寸平均七寸位にして各樹二三本の結果枝を生じ大なるものは廿五日に開花を見たり

◎東拓移轉と榮山浦

東拓榮山浦出張所が松汀里に移轉すべしとの說は一箇月程以前より榮山浦に傳はり居たれども其の理由とする處は學校組合費等の關係なりと云ふにありたる爲め何れも虛說ならんとて信を措くものあらざりしが最近に至り出張所管區改廢に伴ふ結果なりと稱せられ茲に月餘前の問題が稍々眞面目に考へらるゝ事となり果して夫等の理由に依り松汀里に移轉さるゝ內議もあらば榮山浦としては此の際善後策を講ずる必要ありとし目下有志者間に於て考慮中なりと

◎全北地方煙草作

全北地方に於ける本年の煙草作は移植期即ち去月二十五六日前後の降雨に依り生憎の稻苗挿秧に際し居たる爲め多少移植を遲延したると偶々移植を行ひたるものも降雨永續の結果根毛腐敗せるあり旁々にて今年の實收高は前年に比し三四割の減收を見る如き事なきかと

◎靑山島鯖漁終了

靑山島夏季鯖漁業は目下略ぼ終期に入り漁船も追々根據地に引揚げつゝあり夏枯時季を過ぎて秋鯖漁期に入らば又々同地は殷賑を呈すべく本道も先づ之を以て上半の漁期は一切終了せしものと見らるべし因に靑山島の鯖漁本期の成績は稍豐漁にて水揚高は約十五萬圓位の豫想なりと

◎全州電燈開業期

全州電氣會社にては既に全州裡里兩地に於ける測量を終へ更らに過般內地に向けて發電機電柱其他の材料を注文したれば遠からず到著すべく電柱は寒に入りては建立に支障あるを以て是非其の以前に建立を終る必要もあり旁々會社にては諸般の準備を急ぎ本年冬期までには必らず點燈の運びに至らんと

◎全南普通校經費

本道に於ける普通學校は目下三十四校にて其本年度經費十一萬七千四百五十三圓にて前年より三萬九千三十一圓を增し居れるが之は普通校の新設四校に及びたる結果なるも大體に於て各校とも昨年より幾分の經費を增加せり

◎松靈自動車出願

目下築造中の全南松汀里靈光間八里の二等道路は近く竣工の由なるが光州加藤自動車部は此間を一時半にて直通すべく今回其筋へ自動車運轉の出願を爲したり許可の上は現在の光松間運轉を延長し當分隔日に光州を十二時半發松汀里を經て午後三時半靈光に著し一時間半待ち合して午後五時靈光發六時半松汀里著の豫定なりと

◎鈴木長官歸任

東上中なりし鈴木度支部長官は夫人同伴不破事務官を隨へ二十九日午後九時南大門驛著列車にて歸任したり同驛には總督府及び土地調查局の高等官東拓理事、鮮銀重役其の他多數の出迎へありたり

◎德川侯令嗣出發

德川賴倫侯令嗣賴貞氏は二十九日午後九時四十分南大門驛發列車にて奉天に向へり

□定例休刊

三十日は明治天皇祭に付當日發行の夕刊並に翌三十一日發行の朝刊は定例休刊とす

人事

▲不破東拓氏(總督府事務官) 鈴木度支部長官に隨行東上中の處二十九日夜南大門驛著列車にて歸任

▲中村碑氏(明治生命保險會社京城出張員) 二十九日朝內地へ

▲八田咸北道長官 二十九日夜元山より著京

▲米國商業家ホーンピ氏 二十九日夜入京朝鮮ホテルへ

▲大分縣商業會議所員(二十名) 二十九日夜退京

▲牧野步兵少佐(參謀本部附) 二十九日朝退京

▲松下榮氏(大正水利組合技師長) 二十九日朝退京

南言北語

獨逸の食糧缺乏も久しいものだがギリ〳〵押し詰つて來たらしい▲一國會議員の如きは『愈々となつたら既に國家に對する義務を終へた老人を先に死なせる外はない』と云つて居る▲或る婆さんが病氣で牛乳飲用を願ひ出た處が『もう働きも出來ねば子も產ないから』と不許可になつた相な▲獨逸では全く老人を厄介物扱にして居らしい可愛相に▲自國の國民を餓さして殺すのは獨逸の發明で味方の軍隊で味方を鏖殺するのは露國の發明だ▲戰爭が長く續くと種々な發明が飛び出す▲が、どれも餘り贊成は出來ない▲健康の自慢の大隈侯も此頃の酷暑には大分まいつて居るらしい▲處が却々まいらぬのは固有の長廣舌で▲支那の國民性を論じて支那に陳涉吳廣の徒は年少草澤の間に崛起しても豪い若い衆があつたよ▲當年の陳涉は先づ强秦に一擊を加へて鼎の輕重を問ひ泗楚の群雄を啓導したではないか▲此舌丈けは極暑も極寒も何ともないと見える▲ア、暑い事だ夏は暑いものとは千萬年の昔から相場は決つて居るが何と云つても暑い▲去迚深山大澤の邊に淸涼を追ふの自由をも有せぬ▲と云つて此の塵寰より退却を命せられても行はれぬ▲茲に於てか心涼の必要が生ずる▲心涼は禪機に觸れて始めて求めらるゝに非ず▲自己の欲する銷夏法を講じて可なり▲冷氷一塊の涼味も夜陰一掬の淸風と乃至は一顆の西瓜に渴を醫するのも▲更らに烏鷺鬪球亦好箇の消涼劑たるを失はぬ▲讀書子には讀書の銷夏策あるべく音樂家には音樂の銷夏法もあらう▲水泳可なり午睡不可なし▲要は健康と心涼と相俟つて耐暑の自信を與ふるにある▲避暑家は一面炎熱の降伏者に外ならぬ▲とは云ふものゝアー暑い事だ

◎本日朝鮮總督府公文附錄添附

夏秋蠶種發賣

例年の通り責任を以て發賣致候代金は一切前金の事
著金次第完全なる郵送荷に納め御送付致候
途中發生又は其他異變の場合は御取替又は御返金致候
御送金は小爲替又は振替京城二二六二番御便利に候

內地郡特別蠶種 代價一枚金六十錢 九月末日迄毎日出荷

京城府漢江通四番地
東蠶社種苗部
電話龍山六四番 電話二(下) 振替口座京城二一二六番

新築移轉

弊院豫て新築中の處愈々落成仕り自今左記の處へ移轉從前の通り診療に從事致し候間此段謹告候也

大正六年七月三十日
京城明治町一丁目七十六番地
胃腸病院
入院隨意 病室完備
電話一六五九番
院主 佐々木杏造

蘇峰 德富猪一郞著
縮刷 時務一家言 (定價六十錢)(郵稅六錢)

時務一家言は著者が思想經綸の大綱を提げ、所謂る其の輪廓を描きたる者にして、內治、外交、社會、經濟、軍事、敎育等有らゆる方面の問題に涉著し、後來の各種述作、一として此に胚胎せざるは莫く、之を喩へば、本書は宛も法學階梯書の總論に於けるが如く、『世界の變局』や『大正政局史論』や『大正の靑年と帝國の前途』の如く、皆其の各論と見るべし。乃ち本書は他の外篇に對する內篇の如し。故に本書の精神は其の脈絡貫通し、其關係の緊密なる事、宛ら常山の蛇の如し。其首を擊てば尾至り、其尾を擊てば首至り、其中を擊てば首尾俱に至る。則ち是れ主義主張の一貫也。思想經綸の大首尾俱に至る。本書刊行以來版を重ぬる十有二、著者は新版の卷首に增補を加へ、所說悉く世界の大戰亂に依りて驗證せられたり。是に於て乎、一士人、曰く本書發行當時一讀して歐洲大亂の勃發を豫言せるを知る、然も未だ一年ならずして本書の眞價を知る、蘇峰氏の活眼に嘆じて曰く『今にして本書を讀むに予報の及ぶ所に非ず』と云ふ。眞に斯の如きは本書は實に二十世紀の豫言者の書と云ふべし。此の眞價は天下の經世家一讀せずんばあるべからず。

天覽台覽

發行所 東京市京橋區日吉町 民友社 振替口座一三一〇〇番
賣捌所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番
大取次 大阪屋號 日韓書房 巖松堂 各地支局書肆

サクラビール

謹告

暑中御見舞として平素の御厚志に報ひん爲め本月二十八日より五日間
洋食半額にて差上ます(御來店に限る)

精肉卸 氷商
京城明治町二丁目
石田本店
電話千〇四十二番

內科 小兒科
入院隨意
京城府龍山元町
柴野醫院
電話二〇四番

る▲戰局の前途未だ測り知る可からざるものあり講和の暗潮が戰局の進展と同時に冥々の間に動きつゝあるは疑ふ可からざる事實なりと雖も獨

▲獨逸同盟國が財政の困難食糧の缺乏兵員補充の不足等の爲に講和を熱望する事情は聯合國よりも切なるものありと雖も其の戰局の大勢より達觀すれば獨軍は從前の如く攻勢的

勢も亦一一の狀態に在りて獨墺軍の死命を制し之をして屈服和を乞ふに至らしむること能はざるが如し聯合國も同盟國も齊しく講和を希望

▲獨逸新宰相ミハエリスは『獨逸は講和を提議せず唯領土非併合の範圍内に於て平和を議するに意あり』と云ひ平和的意志の所ゐ所を表白せり

らるゝ迄は戰爭を繼續すべく『一致せる獨逸國民は征服す可からず』と云へる決議案を可決し討議を用ゐずして派遣閣員百五十三名は此の案を通過

▲此際に當り英國首相ロイドヂョーヂが獨逸宰相ミハエリスの演說を駁し『今に於て歐洲の戰場より之を擊攘せずむば次の時代に於て再び歐洲

は痛快事なりと謂はざる可からず之と同時に吾人の意を強からしむるに足るものは露國が新首相ケレンスキーに由りて內閣を改造し斷乎として露國

の民主的改革に對して希望を懷かす一層の發憤全力を傾注して攻擊的戰略を遂行し獨墺軍を驅逐するにあらざれば講和の前途遼遠なるを想はずむばあらず(七月二十一日)

漸く錆の附いた浦鹽

眞摯質實自治心に富んだ市民
中央政界の影響は極めて微弱

浦鹽歸來客某氏談

或る任務を帶びて久しく浦鹽に滯留し一兩日前歸任の途入京せる某氏の談に曰く

浦鹽が中央政界及び財界等の影響を受ける事は意外に緩漫且つ微弱なるものである戰亂の影響に於ても然り革命に於ても其の通りである、先づ浦鹽に及ぼしたる

◆革命の影響の程度より述ぶれば露都に於ける日本曆三月十五日の革命動亂の報は越えて十七日午後浦鹽二新聞の號外に依つて一般市民に報道せられた始め市民は呆然自失の態であつたが漸次の報道に依つて舊露國が沒落して民主政の新政府組織せられたるを聞き市民は其處此處に集合して祝詞の交換を爲た然し露國の他地方に見るが如く民主主義政府起れりとて直に

◆勞働者及下級民が蜂起して前政府の官憲を凌辱し或は貴族富豪を脅かすが如き事は浦鹽に於ては曾て見ざる處であつた革命新政府の成立當時は舊政府の官吏は少からざる不安を抱いて居つた樣子であつたがそれも暫くの間で各官衙の官吏は其儘新政府の爲めに忠勤を勵むべき旨の宣誓を爲し居据りにて新政府の官吏となり國家の爲めに盡す事は少しも

◆變つた事は無いと平氣に濟まして居る之等は鈍根の強い露西亞人の特長とも稱すべきものであらう、尤も東亞總督及び沿海、黑龍、後バイカル、サガレンの州知事は全部罷免され新政府の任命に係る新知事を以て一切の政務を執つて居る浦鹽は市參事會及び市會に依つて自治制が行はれ市中の秩序は新政府の警察の手に依つて整然と保持されて居る、尤も

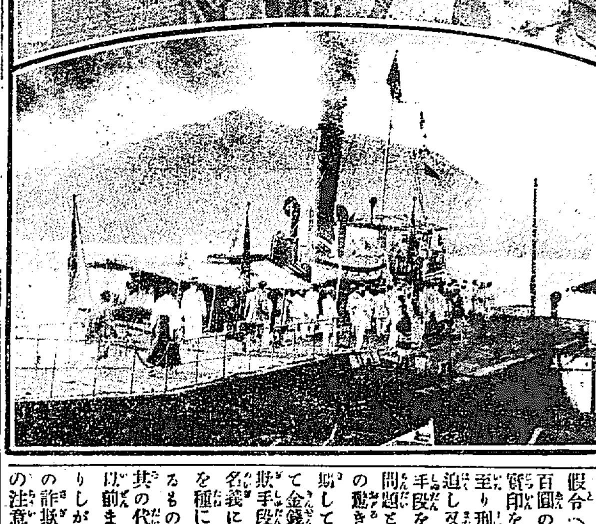
◆舊政府時代に比すれば著しく平民社會及び下級勞働者の權力強く職工等は折々勞銀値上の爲め同盟罷業を企つる事あれど何時も大事に至らずして止み與戒亦多少緩漫なる爲めに小盜の被害增加したる傾向あれど之れ亦歐露に於けるが如き白晝強盜横行するが如き事は絕ねて無し元來浦鹽は五十餘年を經たる古き殖民市にして市民の多くは歐露より相當の資本を以て

◆移住し來れる者か或は百數十年前よりオムスクトムスク等を經て漸次移住し來れる者の子孫にて比較的善良なる上に市民の中心力を爲す多數の者は皆な相當の不動產を所持し一市を以て一小國と爲すが如き觀あり從つて自治の智識發達し輕擧妄動して自から市中の秩序を破壞するが如き者稀なり之れ哈爾賓市が

◆人口少數乍ら市民の素質慓悍にして擾亂及び破壞を好む高架索人及び利益の前に何者をも認めざる猶太人の多く混じ居るを以て僅に露政變直ちに反響して騷亂を起し秩序を攪亂せしめたると殆ど正反對の現象を呈する所以なり

□三殿下御遊覽

山階宮武彦王、同芳麿王、同藤麿王の三殿下は二十九日朝宮島より下關に御著市內御見物の後正午郵船備後丸にて瀨戶內海御通過神戶に向はせられたり(門司特電)



(上)探涼團の釜山驛著
(下)團員の乘船海雲臺へ向ふ

潑剌たる鮮鱗

三十日は東萊にて大園遊會開催

探涼團一行の滿悅

二十九日朝、海雲臺へ赴きたる我が東萊及び海雲臺探涼團一行は午後六時三十分歸釜、直に大池、松井、松本、高井、荒井、臨、吾妻、鳴戶、其他各一等旅館に分宿したるが釜山水產會社よりは

□潑剌たる多數の鮮魚を一行に贈りて旅情を慰めたるが一同は京城に於て死んだ見る事を得ざる珍らしきものなりとて打喜び一同元氣旺盛なり夕方より市中を散步して市況を視察する所ありて同夜釜山に一泊せり尙一行は三十日午前八時三十分釜山發

□東萊溫泉に向ひ同地にて大園遊會を催ほし種々なる餘興の外模擬店を開始し終つて同地出發、午後九時釜山著、同十一時釜山發京城に向ひ歸途に就く豫定なり(釜山にて幹部發電)

東京市の地震

二十分間に亙る水平動

東京市にては二十九日午前九時十八分より二十分間に亙り水平動あり猶ほ微弱なる上下動をも感ぜるが震源地は常陸及び下總の境界にして東京市を去る十二三里の所なり(東京特電)

石油罐爆發して全身火を浴ぶ

一看護婦負傷

大邱元町二丁目大觀病院越智高一方看護婦大塚きわ(二五)大塚きよみ(二二)は二十九日午後一時三十分石油罐よりアルコールを小瓶に移さんとせる折柄傍にありしアルコールランプの火が移り大音響を發し石油罐は破裂してきわは全身火傷を負ひきよみは前額と腕とに輕傷を受けたり而して火は室內に張り大事に至らんとせしも午後二時漸く鎭火せり(大邱特電)

富豪の子弟を喰ひ物にする惡漢

詐欺手段を弄する鮮人 內地人にも被害者多し

近來生活の困難を感ずるより狡猾なる鮮人は各種の手段を講じ貴族や富豪の子弟に酒色を勸め資金を貸與し假令へば百圓を貸與しながら或は二百圓の證書を作成せしめ而も父母の印を盜用又は僞造せしめて期日に至り刑事問題を楯に取りて父母を脅迫し又は地方富豪の子弟にも同樣の手段を以て金錢を貸與し故らに刑事問題として告訴し正直なる地方富豪の動きて元利返濟賠償するを豫期して無智の靑年を花柳界に誘引して金錢を貸與する者頗る多く或は詐欺手段を弄して地方の富豪より賭博名義に大金を捲上げ又は鑛山田地等を種に內地人より賣却名義に騙取するもの、米穀仲買ひを表面に裝ひて其の代金を詐取横領する徒輩もあり以前までは其の被害者も多く鮮人なりしが近來は內地人にして是等鮮人の詐欺手段に引罹る者少からず一般の注意肝要なりと某警察官は語れり

春如海

大正丁巳秋日　海雀○長書

□丹羽海鶴氏の揮毫

(京城ホテルに滯在一般依頼者の需めに應ず(前刊參照))

二千餘組の筏行衛不明

鴨綠江上流臨江縣地方一帶木材商は本年旱魃にて流下不可能の爲め油斷し居りしに去る十二日頃俄かの增水により七八十萬個の木材を以て組める二千餘組の筏を流失せしめ目下下流に人を出し極力搜索中なりと

不逞鮮人就縛

強盜殺人數犯

先月以來安東縣上川端所に何處よりともなく飄然移住し竊かに拳銃の買入を爲す擧動不審の一鮮人あるにぞ其筋にては豫ねて注意をなし居りし處本人は平安北道義州郡古館面生れ金興根(二三)と呼ぶ曲者にて昨冬來平北警務部に於て

▲嚴探中なる強盜殺人犯なること判明せるに依り愈々二十四日午後四時犯人が新遊園地附近を通行中安東署の手にて之れを逮捕せり該犯人は是まで幾回か強盜殺人を働き曾つて之れが爲懲役六年に處せられ平壤監獄に投せられたることあり其後支那桓仁縣に移住し專ら同地方不逞鮮人の首領なる李基黨と相策應し朝鮮方面の移住鮮人を煽動し盛んに不穩なる思想の鼓吹に努め居たるものゝ由なるが猶

▲昨年暮頃義州郡古城面なる富豪某を襲ひ多額の金員を強奪し剩へ家人を慘殺して其行方を晦まし居たるもの由にて尙犯人は昨秋雲山金鑛會社の金塊輸送中之を邀擊し耳目を聳動せしことある彼の兇賊の連累らしき疑ひあり目下安東署にて嚴重取調中なるが不日平北警務部へ引渡さるゝ筈なり(安東縣)

(三)この兩名を逮捕したる由にて彼等の供述に依れば未逮捕の連累は尙滿州人三、州內人三、州外人三、山東人一名ありと(大連)

夫殺しは死刑

慶北尙州郡恭儉面中北里居住金分岳(一八)は去る大正四年十二月中居村李圭弄の長男李八金(一六)の許に嫁し爾來同棲するも一向面白からずそれよりは一層夫を殺して他に良緣を求めて緣附かんものと惡意を決し四月九日夜夫の熟睡し居れる機に乘じ自己の裳の紐を取つて李の頭部を絞め死に至らしめて何喰はぬ顏を裝ひ居りしを同地憲兵分隊に探知逮捕され大邱地方法院にて公判開廷審理の末死刑に處せられしも不服として覆審法院に控訴を申立てたり

豺に浚はる

慶北慶州邑內川北面隍城里李曉華孫好(六)が二十四日夕刻遊び居れる內一頭の大豺現はれ同人を拉し重傷を負はせたるを辛くも里民が奪還したるが目下醫療中

嬰兒二名壓殺

京畿道坡州郡長湍面自作里成樂中(四一)は同里李巳煥(三三)といふ寡婦と關係し四十五年二月十三日と大正四年十月二十日との二回に分娩したる二名の嬰兒を共謀して壓殺したること發覺し兩名は憲兵分遣所に檢擧され京城地方法院にて樂中は懲役三年巳煥は同一年六箇月の處分となれり

密造して逃亡

慶北慶山郡珍良面東草洞朴聖祚(三〇)は本年三月廿七日以來慶州郡西面泉村里朱砂山頂の朱砂庵にて染料の原料を栽培すと稱し同庵より南方約十三丁を距る仙里城山々麓鄭彩杓の所有畑三斗落を金十圓にて借り受け阿片の原料たる罌粟を栽培し七月三日より該畑地に接近せる丁錫昊方の一室を借り阿片煙の密造を開始し同月十四日迄に約一斗の液汁を採集し居たるに同日夕刻淸道郡雲門面亭子洞崔某外一名の者液汁採取の現場に來り嚴禁せられたる阿片製造は不都合なり採取したる液汁は折半せざれば其の筋に密告す可しと脅迫したるに依り同夜液汁を攜帶逃走せしが未だに手掛り無く嚴索中なりと

縛上げて放置

慶北尙州郡西草山里金占龍(三)及び金泌(一〇)の兩名は同郡沙伐面退江里崔明元なる者が兩名の親戚なる金對甫方より去月十一日夜牛一頭を竊取したるを發見し外二名に援助を求め四人掛りにて明元を縛り上げて一晝夜放置したる爲め遂に絕命するに至らしめ大邱地方法院にて四名共各懲役一年內應援したる二名は三年間執行猶豫の判決となれり

人質取りの海賊逮捕さる

去月十七日椋子島附屬搭連島にて人質七名を拉去したる海賊の一團あり長風丸其他當局の嚴重なる搜査に其目的を遂し得ず遂に人質全部を放免したるため去二十一日鶴子窩に歸來せしが其後鶴子窩出張所にて引續き搜査の結果二十六日復州管內打小北會趙德興方に潛伏せる同地住無職趙延生(三一)同娘々廟會無職孫德善

京日案內
普通五十錢一回分金 番外一圓分金(三行以下)
▲申込後中止の節は料金返戾せず ▲六回以上の御申込は特に御割引 ▲御寄稿は返信用切手封入の事 ▲御照會の節は必ず數字の番號記入の事

◎店員入用 但多少京筆の心得と商才ある者市內に確實の保證人を要す 京城明治町二丁目 木村屋支店 358

▲義太夫稽古本と流行歌本數振三三 一切取揃有 京城本町電二五二七 ウツボヤ書店 219

▲金融 月收の方に極秘信用迅速 京城花園町八七 御報同上又は御來談 大和士質店 302

◎淨記係入用 商業學校出身一名 希望者來談を要す(電一三九〇) 食料品商 明治町 竹田出張所 344

有給外務員採用 三十歲以上午前來談 京城明治町一丁目四二六 東京國債朝鮮支部 350

産婆 遠近を問はず御依頼に應じ升 電話(開通)二七二六番 京城鍾路一丁目 小倉松野

移轉 本町二丁目三九番地 警務總監部通大倉組隣 內科 小兒科 爲春堂醫院 電話九一八番 343

京城開合自働車 京城發前八時 春川發前八時 京城水標橋通り 電話二一三八番 京春自働車商會 松田壽男 263

椅子卓子陳列戶棚書棚製造並に修繕 新古金庫大釜樂器 洋家具 黃金町二丁目 電長二四二一 室商店 264

鑛物定量分析 朝鮮公論社左横小路 太平町二丁目 三五電話長二三四四 坂元分析所 322

旅館並に御下宿 弊館は三階建にて閑靜にして便利に付極めて御客樣に對し親切丁寧に取扱申候 京城西大門町二 電話二六二五 優翠旅館 336

西洋料理 アイスクリーム おいしい事京城第一あります 本町二丁目(元清水村末店跡) 福海軒 王文海 電話二七三七番

最新刊
人格の力 和平正美 一、〇〇
漱石文集 藤田信亮 一、〇〇
紀行文粹 千山萬水 文章講習會 四〇
日本アルプス縱斷記 一戶直藏 顧田博士講評 一、二〇
天然生活法 小橋德五郎 一、二〇
血潮の本願寺 五〇
つむじまがり 宮武外骨 五〇
發明家物語 工業教育會 五五
小學教育の最近研究 帝國教育會 一、六〇
日々應用する禮儀作法 小泉迂外 四五
中村敬宇先生遺文 六十五錢
學生及青年の修養良材 作文軌範
草書のくづし方 渡邊岳陽 四〇
イソップ物語詳解 紀太藤一 八五
主要岩石肉眼的鑑定便覽 小泉忠夫 五〇
最新鑛業家要覽 日花山 一、二〇
大阪屋號書店 京城本町一丁目 電話六六〇・六三番 振替京城二五七三番

外科 一般花柳病科
內科 一般皮膚病科
普通及隔離病室完備 診察夜九時迄
島崎病院 京城旭町一丁目(本町通り左に入る) 電話二七三六番

堀內新泉先生新著
當世百道樂
◎著者獨特の奇警の觀察と犀利の筆法を以て現代の道樂を解剖し或は大に奬め大に戒め大に遊び大に笑ひ大に自省せしむる大文字深く強く現代を諷刺し搖覺せしむる近來稀有の快著也
(內容の大略)書畫骨董道樂 女道樂 馬道樂 カフエー道樂 釣道樂 猫道樂 貯金道樂 借金道樂 旅行道樂 芝居道樂 火事道樂 女中道樂 浪花節道樂 義太夫道樂 茶道樂 酒道樂 等の百道樂
四六判美裝 定價一圓 送料金八錢
賣捌所 京城日報社代理部 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番

○開業廣告
私儀此度總督府醫院を辭し左記の場所に開業仕候
光化門通(明月館西側)(普通産及難産需應)
産婦人科 小兒科 內科 戶川醫院 女醫 戶川錦子 電話一七四番

EIGYO HINMOKU
陸海軍御用被服類
兵器支廠御下品乘鞍乘馬具附屬品一式
工業用革具帶革刀帶其他軍隊式堅牢靴
△夏冬メリヤス雜貨類新古作業服一式
◎右各品特別廉價にて販賣可仕候◎
大阪朝日メリヤス特約販賣店
京城北米倉町 村上商店 電話二二一番

營業品目
肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉 星印配合肥料、細工用地骨 細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼 牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二五六四番 長距離電話九七三番 振替口座京城一〇四番

池田孝一
イケダ小兒病內科醫院
京城三越吳服店前(入る)旭町四丁目 電話(醫院一二三四番 自宅八八〇番)

朝鮮總督府法定消毒藥
無比の防臭作用と殺蟲力を併有す
アイゼル液
京城 井上藥品部

內科 小兒科 婦人科 眼科
京城南山町二ノ四六(三越合宿所上)
一元堂醫院 電話一壹二四番 小山亨

花笠(七〇)
松田竹の島人作

お琴は、未だ水稼業の藝者の籍を脱さなかつたから、浮はついたところがあつて、早見が餘り眞面目なのを可笑がり端なく笑つた。
早見は、お琴の浮はついた擧動が小癪に障つて、険しい顔付を爲ると
『人が眞面目に噺してるのに、何にが可笑しいんだ。失敬な。』
『だツて貴方が、餘り四角張つて居らツしやるからですよ。』
『だから先刻から言ツてるぢやないか、以前の早見譲吉ぢやないツて……』
『眞個に變つてお了ひに爲りましたねエ。』とお琴は、呆れたやうに言つて、淋しい眼を瞬る。
『今訊いたことは什麼だね?。』
『宛るで警察署で、調べられてるやうですね。』とお琴は嫣然と笑ふ。
『僕は何にも道樂に、這麼ことを言つてるのぢやないからね。』
『そりや然うでせうけれど……』
『私の言ふことが能く解らんか知れんが、何にも煩悶がなく、心を氣高く持つてゐれば、三度の食事に麥を食べやうと、粟を喰べやうと、然うして襤褸の衣服を著てゐやうと、樂しく其日が送つて往かれるのだ。』
『だツて然うは往きませんわ。』
『お前が、人の妾にでも爲つて、樂に其日を送つて往かうといふのは、間違つた考慮へだ。妾といへば人の玩弄物ぢやないか。』
『だツて然うでも爲たけりや、年寄つた親父を樂にさせられないんですもの。』
『親父を樂にさせる道は、其麼ことでなく、外にあるさ。』
『外にあるツて、什麼すりや可いんです。親父が年寄ツてるのに、毎日汗水を垂らして働いてるのを見てると、眞個に可哀想でならないんですからねエ。』
『親父さんが働くのを可哀想だと思ふなら、お前は若いのだから、手助けを爲て遣れば可いぢやないか。然うすると親父さんは、それだけ樂が能きる。』
『可其麼ことが能きるもんですか。』
『能きんことはない。人間が遣らうと思つたら、其麼ことだツて能きんことはない。遣らたいから能きないのだ。』
『だツて妾に、鍬を持つて畑を遣れツたツて、そりや能きませんよ。』
『能きんことはない能きる。そりや遣らんから能きないのだ。お前が遣りつけない仕事だから、最初の内は能きないに相違ない。けれども屈せずに遣つて居れば、後には熟練れて容易く能きるやうに爲る。お前は、自分の身は縦令人の玩弄物に爲つても、親さへ樂にさせれば可いと思つてゐるが、親を樂にさせたいといふ心は實に感心だけれども、其方法を誤つてゐる。華族や富豪の妻君や令嬢が、綺麗な衣服を著て、美食して居ても、心が腐つてゐたら、心の譴い車夫にも劣るのだ。ところでお前は、用瀾から言はれて、市野の妾に爲ることを承諾したさうだが、以ての外のことだ。』
『でも貴方、親父の身體を樂にして遣りたいと思ツてるところに、市野の旦那様が、妾を世話して遣らうと仰ツたツて、用瀾さんの噺なもんですから、承知したんですよ。』
『それがお前の心得違ひだ。』
『だツて市野の旦那様の御世話に爲れば、藝者を爲てゐなくツても可いんですからねエ。』
『詳く言ふやうだが、人の妾に爲るのは大いに恥づべきことだ。』

日報俳壇

蜩
江の岸に荷かゝれば蜩も涼し風 小嵐山
浴に対す涼しさの蜩かな 六轉
蜩飛ぶや壓搭搗を日向葵に 隈山
蜩ねし兒の蜩逐ふ針の暇哉 龍泉
蜩の澄む涼しき居間に通されし 海雲臺
蜩を打ち降る音に鳴る午砲 文哉
藥瓶の蜩凝視め居て眠り居り 宵風
雨の夜を電燈に蜩のたまり居り 芳宙
湖の風滑かに蜩の澄む廣間 同

川狩
川狩を見て居る寺の女かな 六轉
一山の僧戒を破る夜振かな 同
逃げし魚背大なる夜振かな 小嵐山
川狩や頭上に雲の動く夕べ 同
川狩の月出で網を仕舞ひ鳧 隈山
川狩の松明更けて澄む湖畫 龍泉
川狩や淺極りて灯す家 海雲臺
川狩の籠持ち吳れし小供哉 文哉

新刊紹介

▲最新法律總覽(辯護士、國部四郎 竹内房治共著) 本書は兩著者が該博なる智識を傾倒して專ら初學者の爲めに我國現行の憲法、民法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法、商法、行政法、裁判所構成法、國際公法、國際私法、會計法、戸籍法の十二法を平明懇切に說述せるものにして法尊又は其他の熟語、術語を徹頭に註釋し戸籍法の如き凡ての場合に屆出書式を表はすものは遂條的に説明し其他は概括的に論じて法の精神眞義を了解すると共に活用の途を教へたるのみならず發裁等に關する冗贅を省き尋通の版より三行を増して十七行詰に縮刷して其の定價を低廉ならしめたる等著者の親切なる用意を見るべし蓋し國民思想の歸趨殊に法制智識の一般的普及如何は直ちに國家の公序良俗に關係し延て國家盛衰の岐るゝ所にして又吾人日常萬端の一擧手一投足が悉く權利義務に支配せられつゝあるを知らば國民は自ら進んで其の智識の涵養に努めざる可らず而して本書の如きは此の要求を滿足し得べき最も適當なる著なるを斷言するに憚らざる也(洋裝菊版千七百二十七頁四圓東京麻布谷町内外出版協會)

▲兒童(八月號) 夏休中の家庭教育、兒童救濟上の悲劇子供の言葉、知らずにして居る子供の虐待、アリス物語等(十六錢東京府下目黑權之坂下兒童教養研究所)
▲市町村雜誌(七月號) 自治行政雜誌にして選舉運動と自治行政、小學教育費の國庫補助に就て、木材利用の趨勢其他數十の記事皆可(十錢東京芝田村町六共社)
▲料理の友(八月號) 風流な家庭納涼宴、一品十錢以下の涼しい料理共進會、あつさりと食へられる肉料理其他季節向料理法數十(二十二錢東京上大崎中丸大日本料理研究會)
▲新聞年鑑(五) 四月二十六日より五月二十五日の間に於ける重要事にして內容簡單便覽となる(六十錢東京赤坂區青山南町一宏運社)
▲新美術 七月十五日號 七錢東京四谷本村町二九共社
▲婦人週報(七月二十日號) 四錢五厘東京牛込市ヶ谷田町二の一七共社
▲ベニヒ(七月號) 二十錢東京名内教場二一共社
▲讃記世界(十月號) 十錢東京神田美土代町三の一普通學研究會
▲民聲(八月號) 十錢東京麻布一本松八共社
▲樂燈(七月號) 十五錢大阪南區天王寺松ヶ鼻町五四六四共社
▲興農の研究(七月號) 五錢五厘東京神田柳原河岸二共社
▲勝友(七月號) 五錢京城本町三の五〇宗靑年會本部
▲花(七月號) 二十錢東京下谷上野櫻木町三六東雲閣
▲筆の友(七月號) 二十錢東京神田淡路町二の六共消後園協會

讀者の領分

朝鮮人の無職者の中には毎日大きな袋を背負ふて塵芥溜箱を淩つて行く者が多く腐れた物や棄てた魚の腸など拾ひ食をやつてゐるがあれで病氣に罹らぬのが不思議だが彼等の徘徊することを嚴しく取締つて戴きたいものだ(官舍) ▲京城水道の斷水は今更のことではないが吾々山手に住まつてゐるものは一晝夜に僅か數時間だけしかお蔭に預る事は出來ぬが稅金は兎も角今少し長く出して下さる譯には參りませんか(高臺の貧民) ▲夕方散步する人の多い場所を得意顔に疾走する自動車や自轉車は甚だ危險なもので夕方の涼風なるものを車上の人ばかりで蹂躙獨占するのは散策者に對して聊か横暴過ぎるぞ(浴衣掛) ▲鳥致院果農園では一個月も前に金を受取りながら未だに種子を送らん手紙や電報で照會しても返信がない今播種期に至り注文者の心をも察して貰ひたい(黃州待兼生) ▲南山公園を直ぐ目の前に見て居てサア行つて見たいと思つても路が無い、無いではないが門外漢の悲しさには態々南大門の所まで大廻りをせなければならない、ソコになると門内漢は仕合せなものでドノ谷からでも上れることになつて居る諸君公園からまで門外漢視せらるゝは殘念ではないか門外にはコンナ事の世話をする人は無いのか知らぬが府としても少々片手落ちではあるまいか御一考を望む(南山生)

御印判 京城本町一丁目 千代田號印舗 電話九八七番

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版 最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀懇切を旨とし御需に應ず 京城日報社寫眞製版部

免許 土用ヤイト 狩野 本町三丁目(山本旅館前)電一三二六

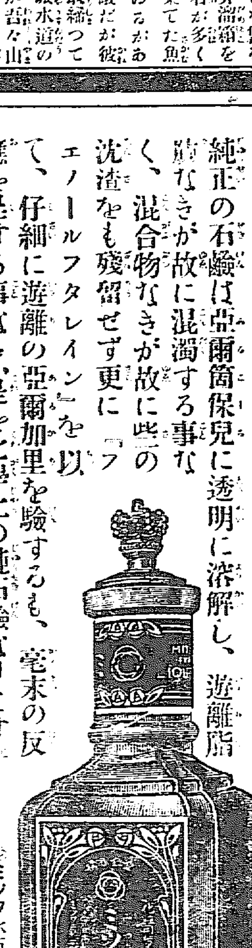
營林廠拂下 特種原木
紅松、杉松、其他多數持合せあり
製材の上又は原木の儘廉價賣却す
京城岡崎町 清水製材所 電話龍山五十三番 振替京城四一九番
京城明治町 北方支店 電話一九四〇番

●露支苦力協約
…募用華工辦法を協定したるが内容左の如し
▲華工を募用する各工業經營者等…
…事▲露國政府は華工の歸國を擔保する事▲露國廠工及び其家族の享有する一切保護並賛手當法は華工にも適用する事若し華工にして…
…官は之を支那公使館に照會すべく獨斷的處分を許さざる事等なり

●關東州鹽前途
…朝鮮の需要を増したるも朝鮮にて鹽の自給政策を取り鎭南浦一帶の鹽…られたるも同方面も又專賣制度なるを以て自由に輸出する途無く製鹽法…輸出の途を開くか州内に於ける曹達工業の經營を見るか若くは内地輸出…
…中最も栽培の奬勵に勉めつゝあるは(一)藍の栽培(二)各國の良種を選ん…の打擊は一方ならず獨逸藍は大正元年中既に價格暴騰したるが此の影響…

ミツワ石鹸

純正の石鹸は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の洗渣をも殘留せず更に「フエノールフタレイン」を以て、仔細に遊離の亞爾加里を驗するも、毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹸なりとす。



ミツワ水石鹸 定價 大壜金五十錢 小壜金二十五錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

(現品縮寫圖)

皮脂の分泌量多くして而かも粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髪の洗滌に用ふべき化粧用石鹸は、啻に化學上の純石鹸たるの故のみを以て其適否を論ずべからず。

ミツワ石鹸は化學上の純石鹸たるのみならず、尙左の性狀を具備す

一、原料を精選し、脂肪に香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ひず。
一、温雅の芳香を有す。
一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し、而かも浴室に用ひて、半途に溶け崩るゝが如き憂なし。

故に一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に適し、經濟に合する理想的實用石鹸なり。

種類			
大・中	家庭用	定價金二十錢	內地以外は關稅運賃を加ふ
小	携帶用	定價金十三錢	
極小形	旅行用	定價金五十錢	

(現品縮寫圖)

丸見屋商店發賣品目

ミツワ石鹸 大形金二十錢 中形金十三錢 小形金十錢
ミツワ水石鹸 定價大壜 金五十錢 金三十五錢
浮石鹸 大形金二十五錢 小形金十二錢 二個積金二十錢
ミツワ洗濯石鹸 定價大形 金十六錢 金十二錢
純石鹸 定價金十錢
ミツワ椿油 大壜金五十五錢 中壜金三十錢 小壜金二十錢
ミツワ固煉油 定價金二十錢
ミツワ雪の雫 定價金三十錢
ミツワ花の雫 定價金四十五錢 大壜金七十錢
ミツワ月の雫 定價金五十錢 大壜金八十錢
三百番香水 大壜金二圓 中壜金一圓五十錢 小壜金五十錢
ミツワブリリアンチン 定價金三十錢 大壜金五十錢

肝油ドロップス 百廿顆入金一圓四十錢 五十顆入金七十錢
複方肝油ドロップス 百顆入金一圓四十錢
ミツワ規那鐵葡萄酒 定價金一圓五十錢
ミツワ水枕 大形金一圓 中形金八十錢 小形金七十五錢
ミツワ保溫囊 定價金二圓二十錢
ミツワ人蔘錠 百錠入五十錢 五百錠入二圓
ミツワ複方人蔘錠 百錠入七十錢 五百錠入三圓
ミツワ健胃錠 三十錠入十錢 百錠入二十錢
ミツワ消化錠 三十錠入十五錢 百廿錠入五十錢
ミツワ解毒錠 三十錠入十五錢 七十錠入三十錢
ミツワ緩下錠 四十錠入十錢 百廿錠入二十錢
ミツワ止瀉錠 廿五錠入二十錢 六十錠入四十錢
ミツワ驅蟲錠 廿五錠入十五錢 六十錠入三十錢

ミツワ清涼劑 紙箱入十錢 壜入三十錢
ミツワ解熱錠 二十錠入十五錢 三十錠入三十五錢
ミツワ袪痰錠 三十錠入十五錢 百錠入四十錢
ミツワ鎭靜錠 百錠入一圓二十錢
ミツワ婦人湯藥 八十錠入五十錢
ミツワ中風錠 百錠入七十錢
ミツワ制酸錠 百五十錠入二十錢
ミツワ鎭咳錠 百錠入一圓五十錢
ミツワ點眼液 點眼器入十錢
ミツワ鼻病液 壜入二十五錢
ミツワ含嗽錠 百五十錠入二十錢
ミツワ齒痛液 壜入十五錢
ミツワ鎭痛液 壜入三十錢
ミツワ硼酸錠 百五十錠入二十錢

ミツワ撒布藥 紙函入十錢
ミツワ泥膏 硝子器入十錢
ミツワ殺蟲液 壜入十錢
ミツワ制痒膏 硝子器入二十錢
ミツワ養毛液 壜入五十錢
ミツワ疵膏 硝子器入二十錢
ミツワ凍瘡藥 硝子器入十五錢
ミツワ結核錠 百錠入一圓五十錢
ミツワ治淋藥 カプセル五十個入一圓五十錢
ミツワ膀胱洗滌液 洗滌器附五十錢
ミツワ痔坐藥 六個入三十錢
ミツワ婦人座藥 六個入四十錢
ミツワ腋臭藥 壜入二十錢
ミツワ頑癬膏 硝子器入二十錢

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○君が代丸 八月十一日後四時出帆
○大有丸 八月七日後四時出帆
○秀吉丸 七月 日後四時出帆
▲神代丸 七月三十日後四時出帆
▲印大阪直行
仁川港通三丁目 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆
本社 京城 電話長一九五三・二三三番
京城黄金町 京城南大門通 荷客取扱店 松原運送店 電話一一〇番
○關門より釜山各地經由雄基行 但し×印あるは江原道寄港せず
×京城丸 八月十四日 ×忠淸丸 八月五日 咸鏡丸 八月九日 柳川丸 七月 日 釜山發
○元山より各地經由雄基行 慶城丸 七月 日 鏡城丸 八月二日 三浦丸 七月 日 元山發
○浦鹽行(元山より城津清津經由) 平安丸 八月二日 元山發
○元山長箭間 鏡城丸 八月一日 咸鏡丸 七月三十日 元山發
○釜山元山間 金海丸 七月 日 八月一日 釜山發 元山發
○鬱陵島行浦項及各地經由 登徳丸 七月 日 釜山發
○浦項行(長生浦方魚津甘浦九龍浦經由) 江陵丸 襄陽丸 毎日 釜山發
○濟州島行長承浦麗水巨文島經由 昌平丸 七月卅一日 釜山發
○麗水行(各地經由) 統營丸 濟州丸 毎日 釜山發
○木浦麗水間(鎭木にて釜山行接續) 順天丸 南陽丸 三日目毎に木浦發
○木浦より濟州島行各島經由 公州丸 七月 日 慶興丸 七月 日 木浦發
○多島海各島行 慶興丸 八月二日 木浦發
○木浦行(群山其他各地經由) 晋州丸 七月 日 麗水丸 八月二日 仁川發
○鎭南浦行(海州其他各地經由) 宗信丸 七月 日 仁川發
○海州行(江華島喬桐島經由) 全州丸 錦江丸 毎日 但し三十一日は休航 仁川發

大阪商船仁川出帆
○外航路所屬航路(海洋航路を除く)何れも連絡御乘船の當日は五分引を以て連絡切符發賣仕候
◎神戸、大阪行 △南都丸 八月三日 ×漳州丸 八月十三日 ×臺東丸 八月十六日 後二時出帆
×◎南浦、群山、横濱行 天智丸 七月 日後二時出帆
◎×木浦、釜山、巖原、鄕の浦、長崎行 安東丸 八月二日 安東丸 八月十六日 後二時出帆
○群山、横濱行 潮州丸 八月三日後二時出帆 福州丸 七月 日
△◎南浦行 南都丸 七月卅一日後二時出帆 漳州丸 八月十日後二時出帆
◎×鎭南浦、大連行 安東丸 八月十三日後二時出帆 安東丸 八月卅一日
◎○南浦、神戸、大阪行 臺東丸 七月 日後二時出帆
◎西湖津新浦城津清津行(元山出帆) 宮島丸 八月十五日後十二時出帆
◎清津行(元山出帆) 安平丸 八月九日後十二時出帆
◎上海、基隆、打狗行(大連出帆) 湖北丸 八月廿四日前五時出帆 基隆丸 八月十日後四時出帆
御注意 ◎印は京釜線及び南滿洲鐵道の連絡切符發賣仕候 ◎印は本船の客貨一時間前迄に乘船のこと ×印は一等客のみ取扱
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇番、五五八番
切符發賣所 内國通運會社京城支店 電話七〇八番
切符發賣所 仁川京城通り 明豐旅館 電話二六一番